

# 有明の丘研修(第1期) 実施状況

## 令和元年度 有明の丘研修(第1期) 各コースの修了者数等のまとめ

コース		定員	受講確定数	修了者									
				うち女性	国		都道府県		市区町村		その他		
					うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性				
全コース合計		500	635	447	46	61	4	94	11	280	31	12	0
①防災基礎	9月5・6日	50	61	56	5	10	2	14	1	28	2	4	0
②災害への備え	9月10・11日	50	65	52	11	6	1	15	3	30	7	1	0
③警報避難	9月12・13日	50	63	48	4	3	0	5	1	39	3	1	0
④応急活動・資源管理	10月8・9日	50	63	46	4	4	0	11	1	30	3	1	0
⑤被災者支援	9月26・27日	50	64	45	8	4	0	12	3	28	5	1	0
⑥復旧・復興	9月24・25日	50	66	45	4	7	0	10	0	28	4	0	0
⑦指揮統制	10月17・18日	50	66	34	1	6	0	3	0	25	1	0	0
⑧対策立案	10月10・11日	50	64	31	2	4	0	7	0	19	2	1	0
⑨人材育成	10月1・2日	50	62	41	5	10	1	10	2	21	2	0	0
⑩総合監理	10月3・4日	50	61	49	2	7	0	7	0	32	2	3	0

※内閣府OJT研修生は派遣元の所属で集計

※「その他」は、指定公共機関に所属している者を計上

## 令和元年度 有明の丘研修(第1期) アンケート結果まとめ

令和元年度 有明の丘研修(第1期)のアンケートの回答状況を集計し、得られた集計結果をもとにこれまでの結果と比較した。なお、有効回答の比率を比較するため、無回答を除外して比較している。

## 単元別アンケート

質問		結果まとめ
㉠	この講義・演習の内容に対する満足度を100点満点で評価してください	● コース全体の平均は、平成27年度第1期以降、上昇しており、令和元年度第1期においては、例年よりもさらに高い満足度となっている。
		⇒ 80点以上の高い水準で推移しており、 <u>受講者の満足度の高い講義が実施できている</u> と考えられる。
㉡	学習目標を達成できましたか？	● 「1.非常にそう思う」「2.そう思う」の占める割合の平均は、89.3%であり、平成30年度第2期とほぼ同じ水準だった。
		⇒ 「1.非常にそう思う」「2.そう思う」の割合は高い値を示しており、 <u>学習目標に合致した講義を実施できている</u> と考えられる。
㉢	講義・演習の方法や進め方(話し方・態度・時間配分・作業・班割り等)は、理解しやすかったですか？	● 「1.非常にそう思う」「2.そう思う」の占める割合の平均は、89.0%であり、平成30年度第2期とほぼ同じ水準だった。
		⇒ 「1.非常にそう思う」「2.そう思う」の割合は高い値を示しており、 <u>理解しやすい進め方である</u> と考えられる。
㉣	テキストの視認性(見やすさ、分かりやすさ)や分量は適切でしたか？	● 「1.非常にそう思う」「2.そう思う」の占める割合の平均は、90.1%であり、平成30年度第2期とほぼ同じ水準だった。
		⇒ 「1.非常にそう思う」「2.そう思う」の割合は高い値を示しており、 <u>適切なテキストの視認性・分量が確保できている</u> と考えられる。

## 最終日アンケート

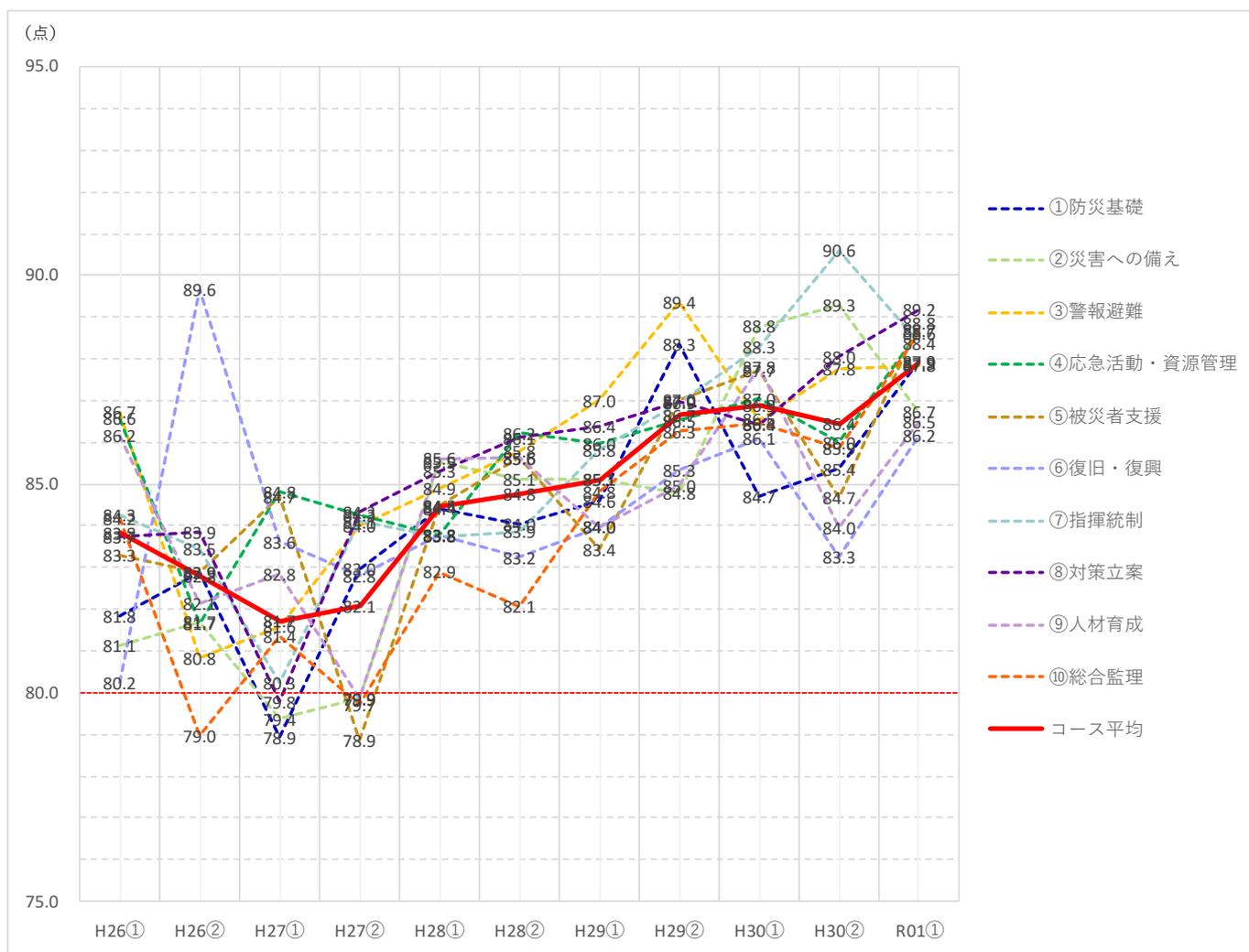
質問		結果まとめ
㊦	本研修は、期待したとおりの内容でしたか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「1.非常にそう思う」「2.そう思う」の占める割合の平均は、96.8%であり、平成 30 年度第 1 期とほぼ同じ水準だった。</li> </ul> ⇒「1.非常にそう思う」「2.そう思う」の割合は高い値を示しており、 <u>期待に合致した講義を実施できている</u> と考えられる。
㊦	カリキュラムは適切でしたか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「1.非常にそう思う」「2.そう思う」の占める割合の平均は、96.2%であり、平成 30 年度第 1 期とほぼ同じ水準だった。</li> </ul> ⇒「1.非常にそう思う」「2.そう思う」の割合は高い値を示しており、 <u>適切なカリキュラムで実施できている</u> と考えられる。
㊦	事前学習を実施しましたか？ (①～⑥の 6 コースのみ質問)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「1.十分に実施した」「2.ある程度実施した」の占める割合の平均は、87.4%であり、平成 30 年度第 2 期とほぼ同じ水準だった。</li> </ul>
㊦	事前学習を通じてコースで何について学ぶのが理解できましたか？ (①～⑥の 6 コースのみ質問)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「1.非常に理解できた」「2.ある程度理解できた」の占める割合の平均は、92.5%であり、平成 30 年度第 2 期とほぼ同じ水準だった。</li> </ul>
㊦	事前学習を通じて、自分のわからないことを確認できましたか？ (①～⑥の 6 コースのみ質問)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「1.非常に確認できた」「2.ある程度確認できた」の占める割合の平均は、83.4%であり、平成 30 年度第 2 期とほぼ同じ水準だった。</li> </ul>
		⇒ (事前学習に関連する項目共通) 事前学習については、平成 30 年度第 2 期とほぼ同じ水準であったことから、 <u>事前学習そのものの効果はほぼ例年通りの効果であった</u> と考えられる。

㊤ 「この講義・演習の内容に対する満足度を 100 満点で評価してください」の回答状況

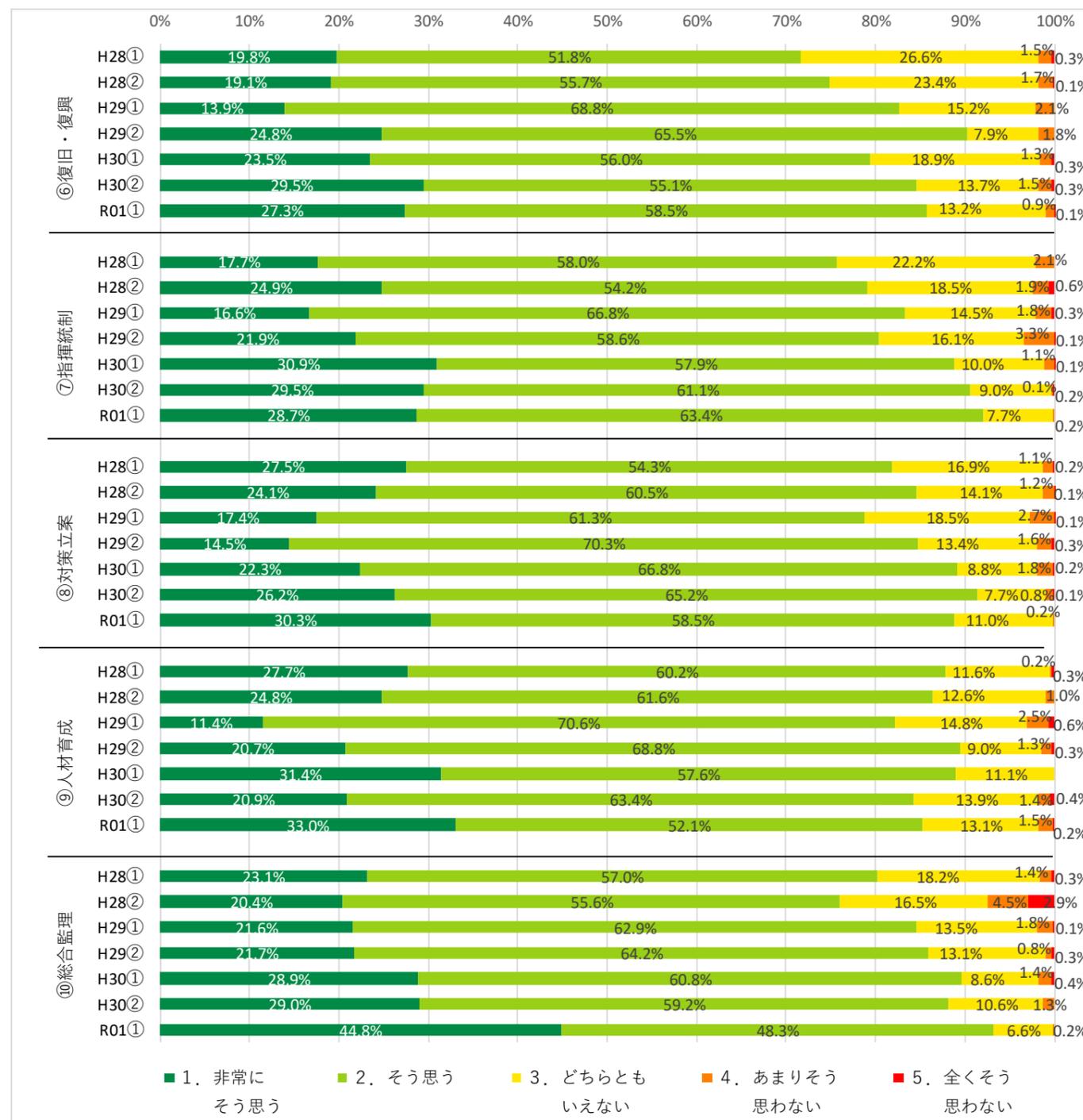
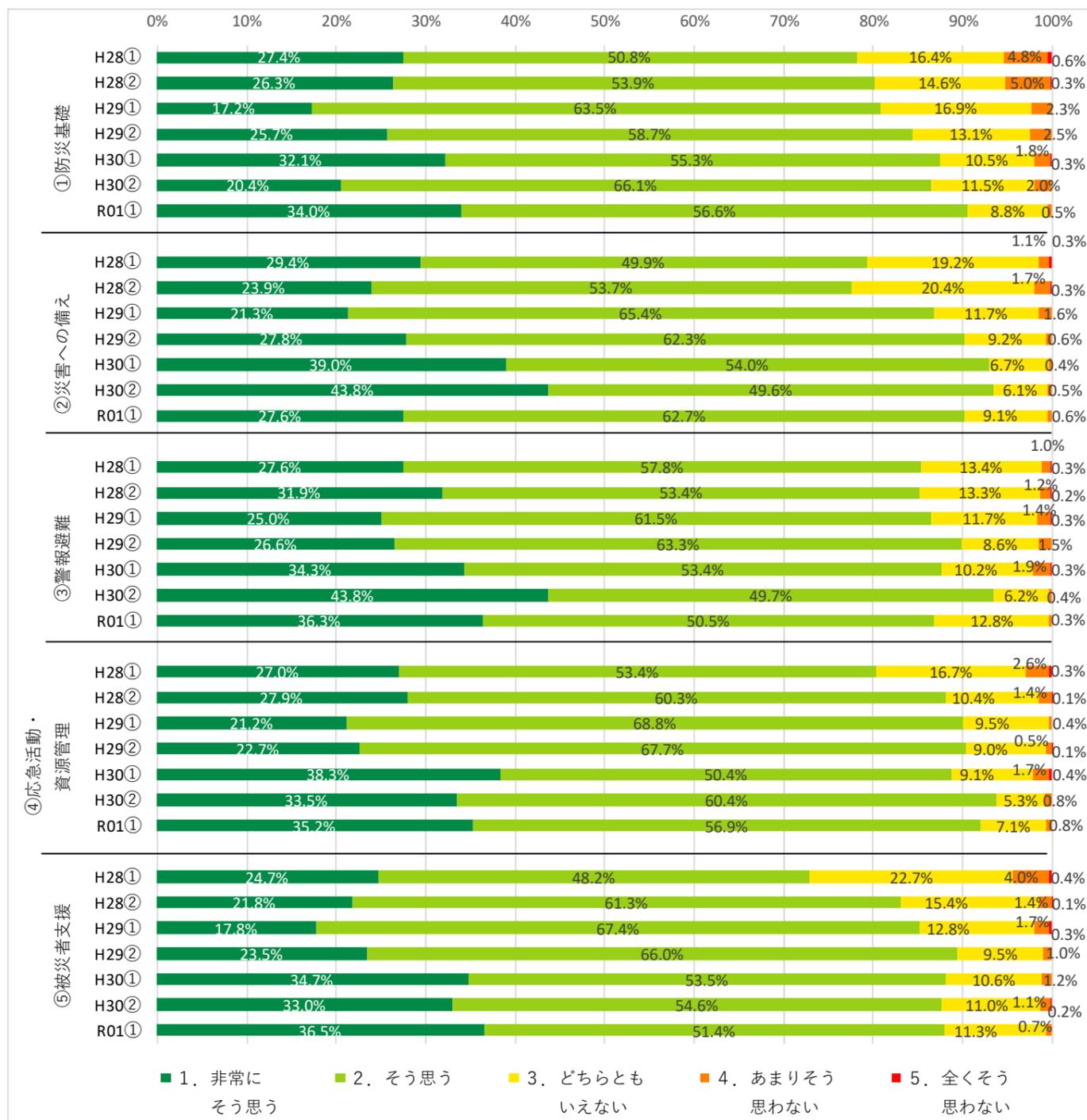
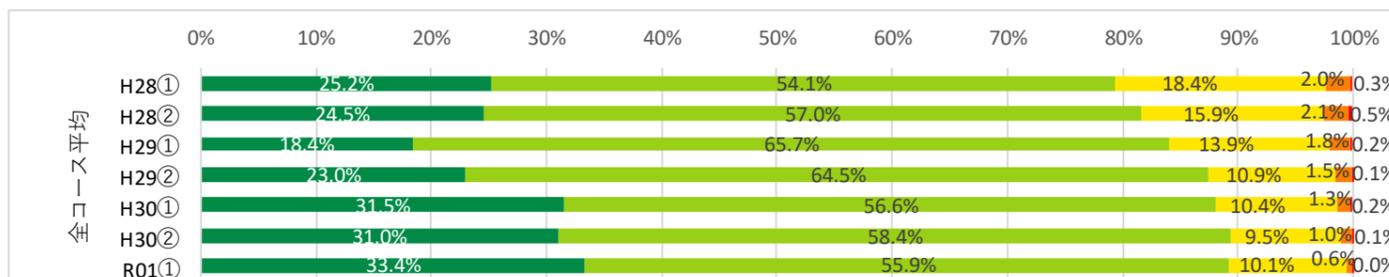
- ・平成 26 年度第 1 期からのコースごとの満足度の平均値を算出している。
- ・コースごとの単元毎の満足度の平均値は、(単元毎の満足度の平均の合計)/(合計した単元数) で算出している。
- ・下記のグラフの「コース平均(赤)」は、(10 コースの平均点の合計)/10 コース で算出している。

(点)

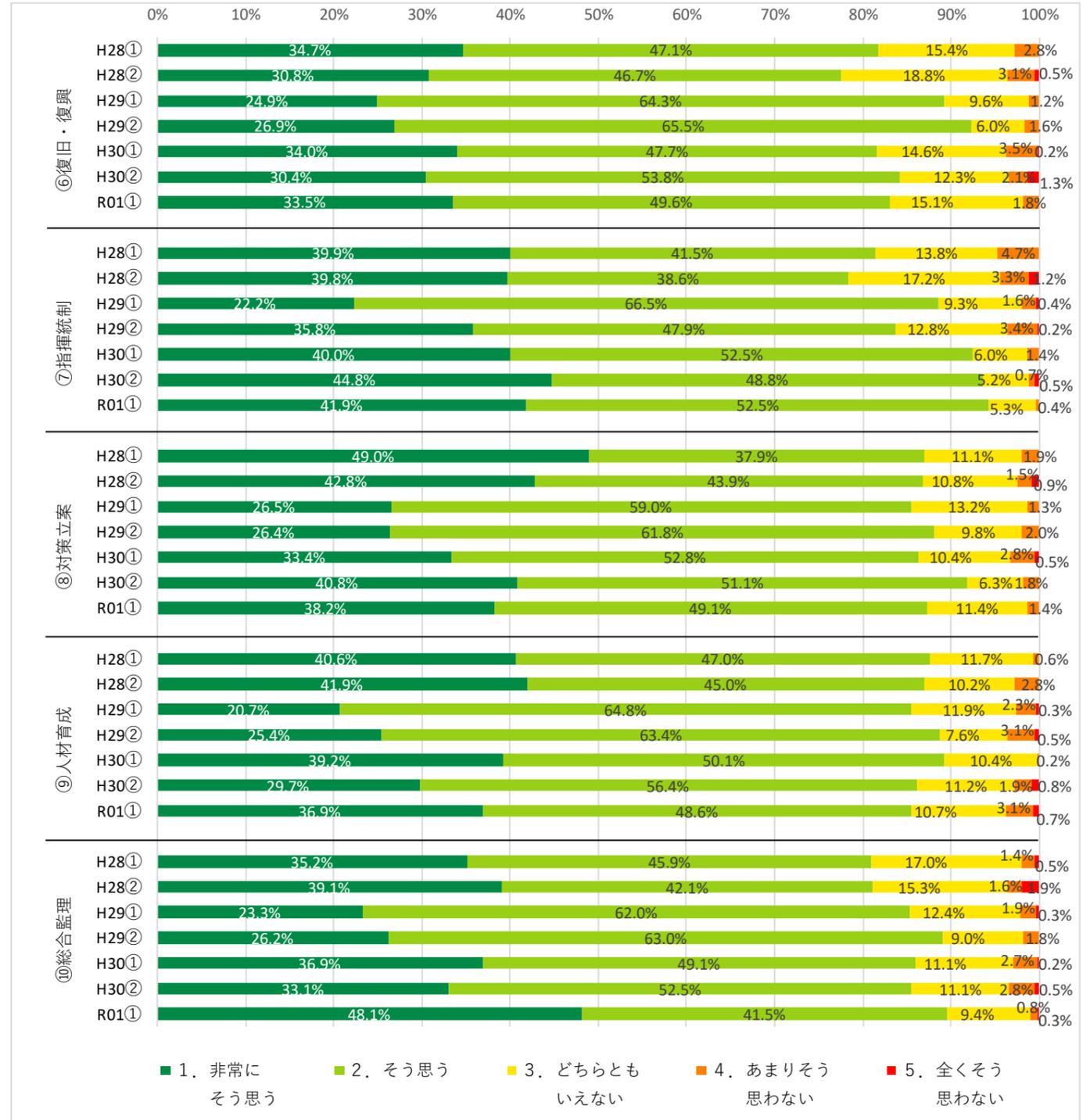
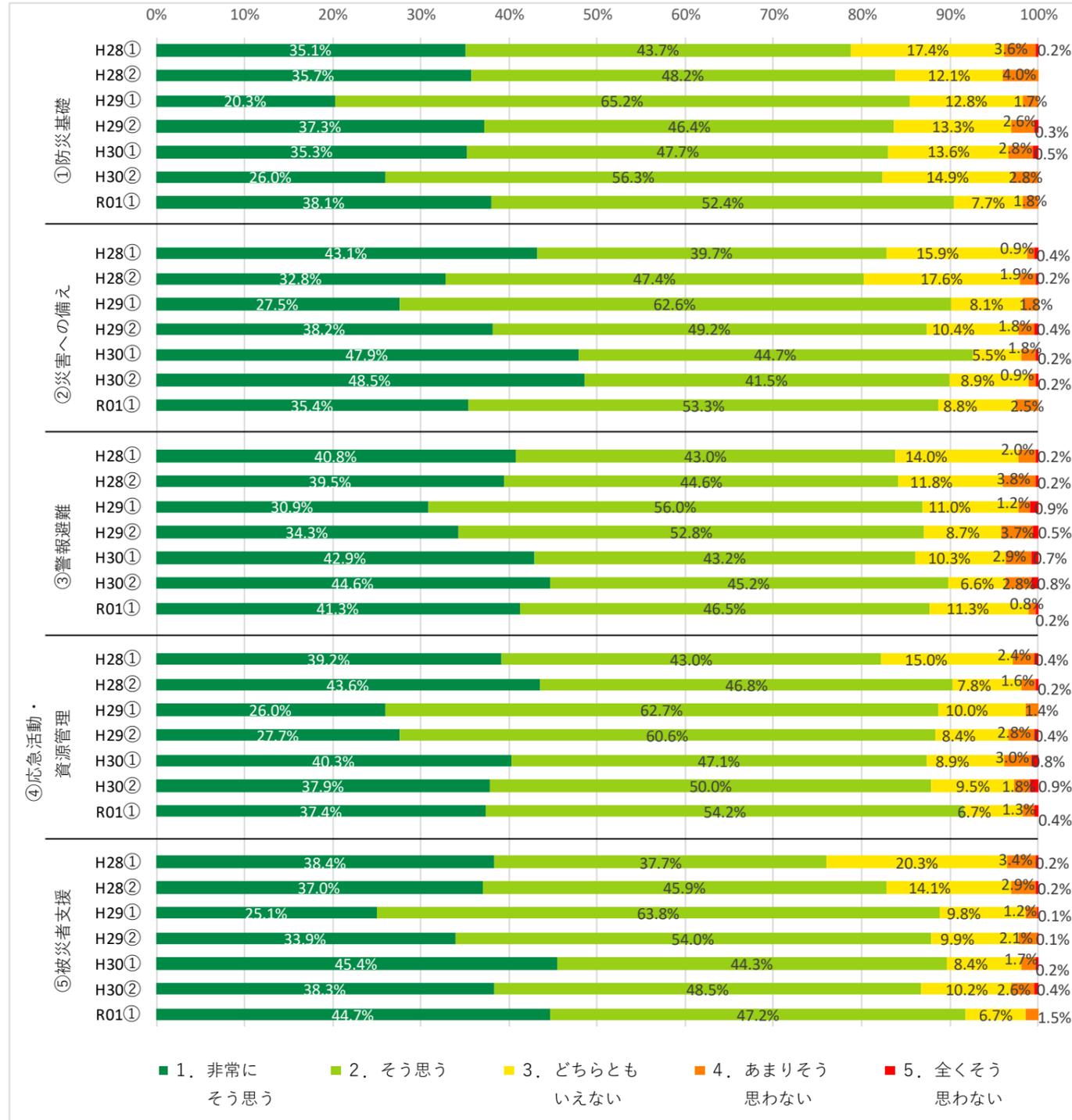
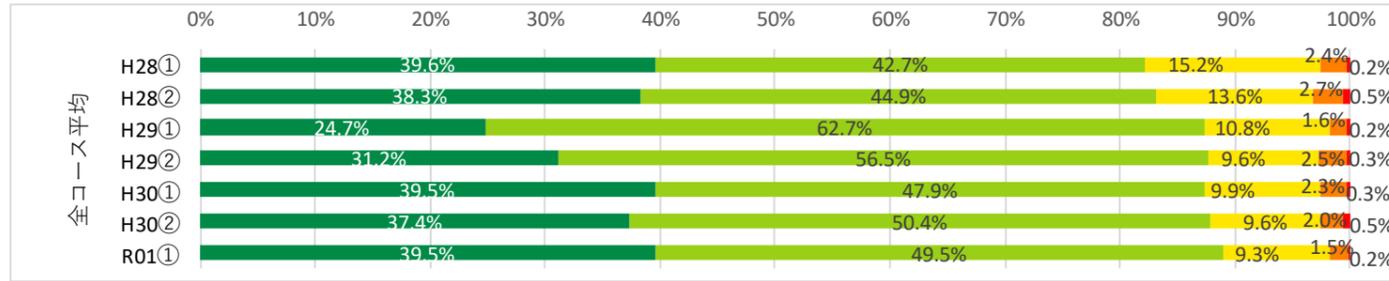
コース名	H26		H27		H28		H29		H30		R01
	1 期	2 期	1 期	2 期	1 期	2 期	1 期	2 期	1 期	2 期	1 期
①防災基礎	81.8	82.9	78.9	83.0	84.4	84.0	84.6	88.3	84.7	85.4	87.9
②災害への備え	81.1	81.7	79.4	79.9	85.5	85.1	85.1	84.8	88.8	89.3	86.7
③警報避難	86.7	80.8	81.6	84.0	84.9	85.8	87.0	89.4	86.5	87.8	87.8
④応急活動・資源管理	86.6	81.7	84.8	84.3	83.8	86.2	86.0	86.5	87.0	86.0	88.7
⑤被災者支援	83.3	82.9	84.7	78.9	84.5	85.6	83.4	87.0	87.7	84.7	88.8
⑥復旧・復興	80.2	89.6	83.6	82.8	83.8	83.2	84.0	85.3	86.1	83.3	86.2
⑦指揮統制	84.3	83.5	80.3	84.1	83.8	83.9	85.8	86.9	88.3	90.6	88.4
⑧対策立案	83.7	83.9	79.8	84.3	85.3	86.1	86.4	87.0	86.4	88.0	89.2
⑨人材育成	86.2	82.1	82.8	79.9	85.6	85.6	84.0	85.0	87.8	84.0	86.5
⑩総合監理	84.2	79.0	81.4	79.7	82.9	82.1	84.8	86.3	86.5	85.9	88.6
コース平均	83.8	82.8	81.7	82.1	84.4	84.8	85.1	86.7	86.9	86.4	87.9



㊦ 「学習目標を達成できましたか？」の回答状況

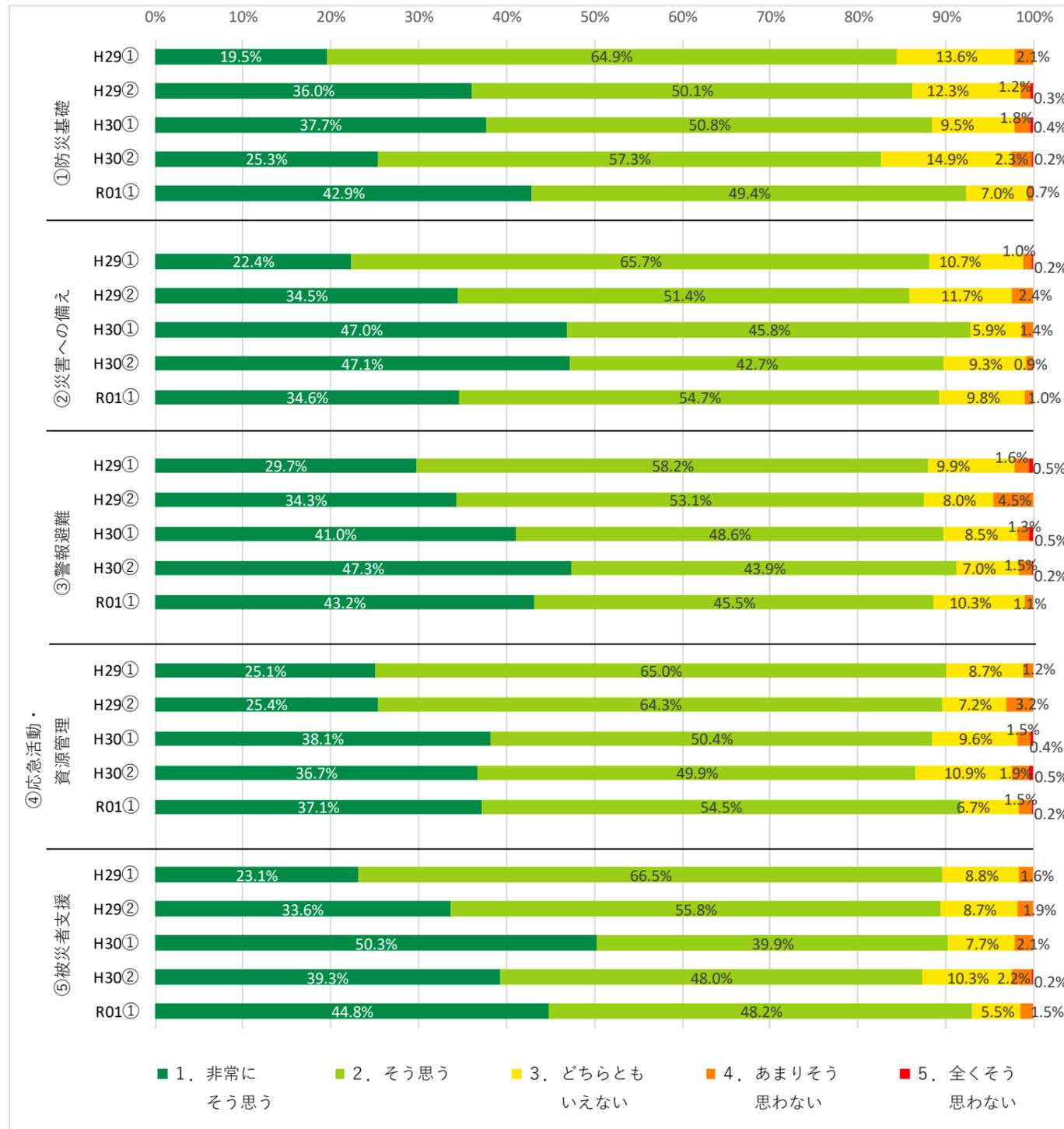
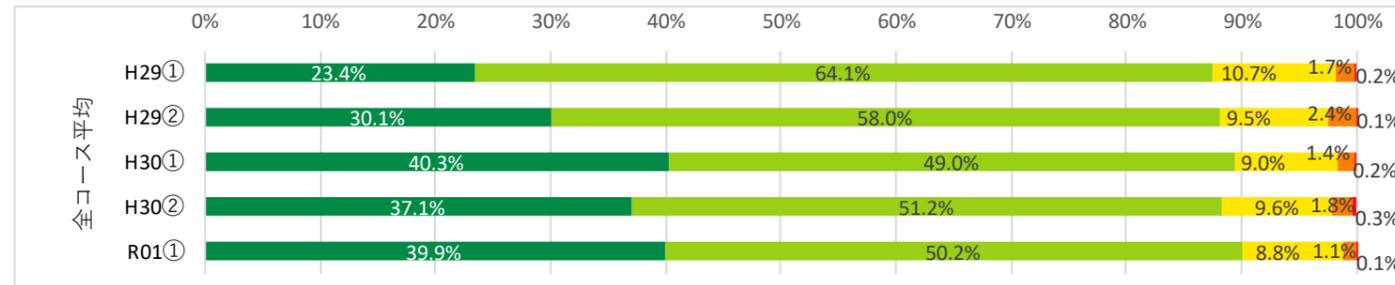


◎ 「講義・演習の方法や進め方(話し方・態度・時間配分・作業・班割り等)は、理解しやすかったですか？」の回答状況

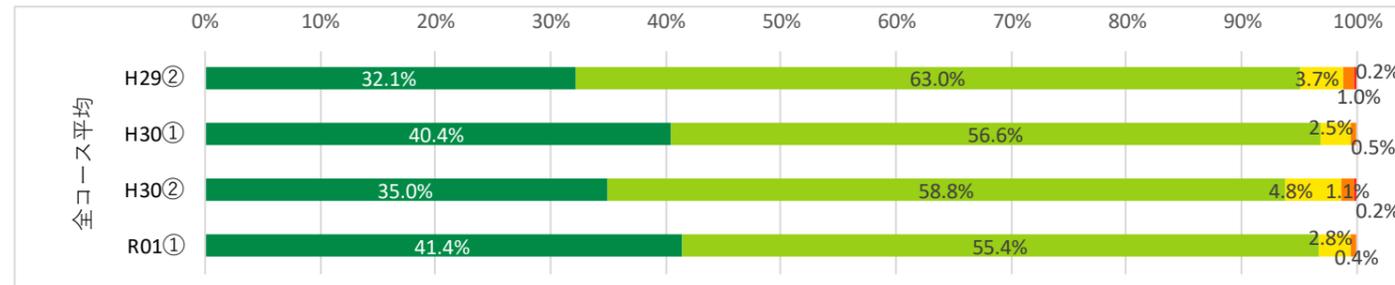


■ 1. 非常に  
そう思う   ■ 2. そう思う   ■ 3. どちらとも  
いえない   ■ 4. あまりそう  
思わない   ■ 5. 全くそう  
思わない

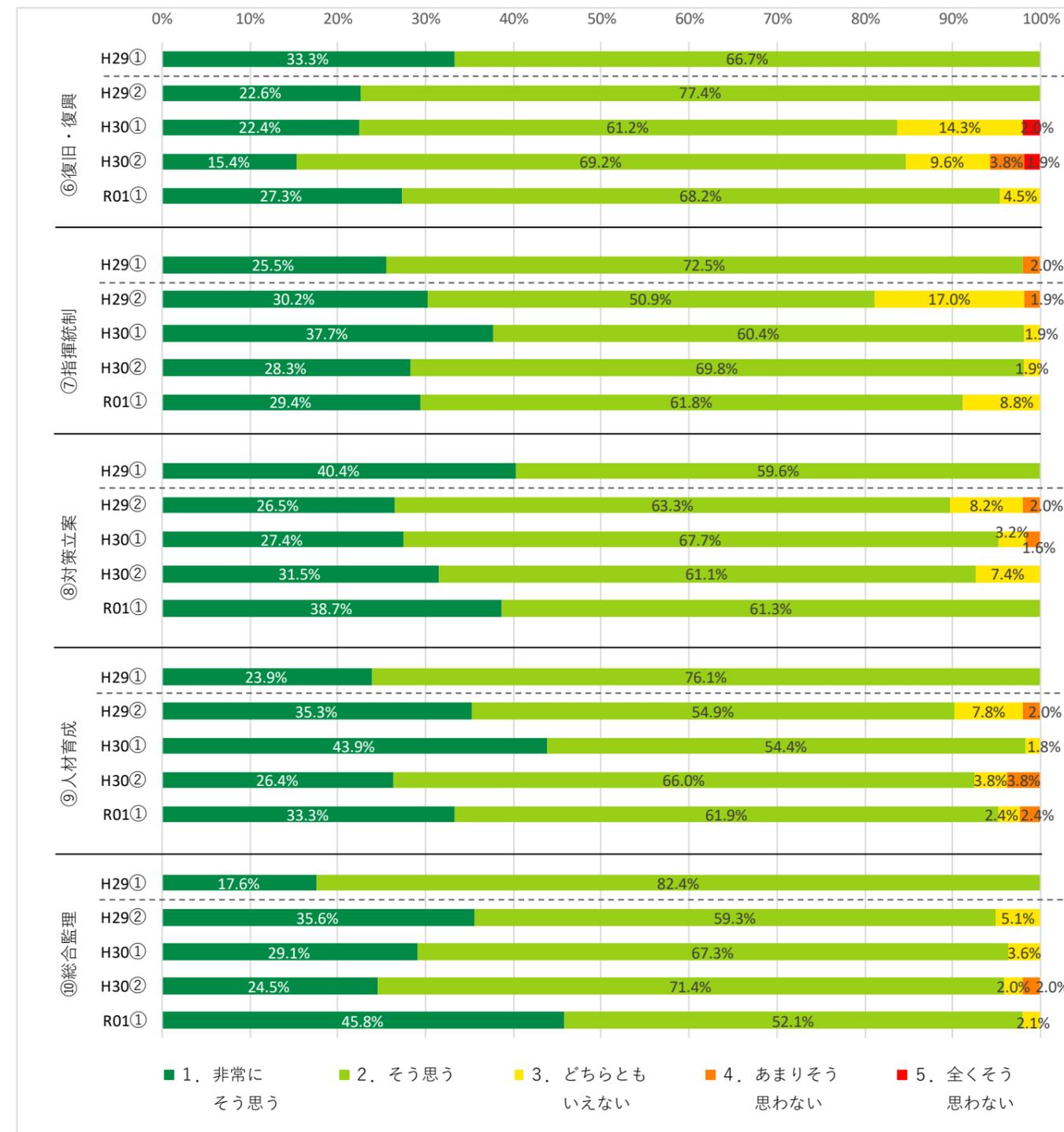
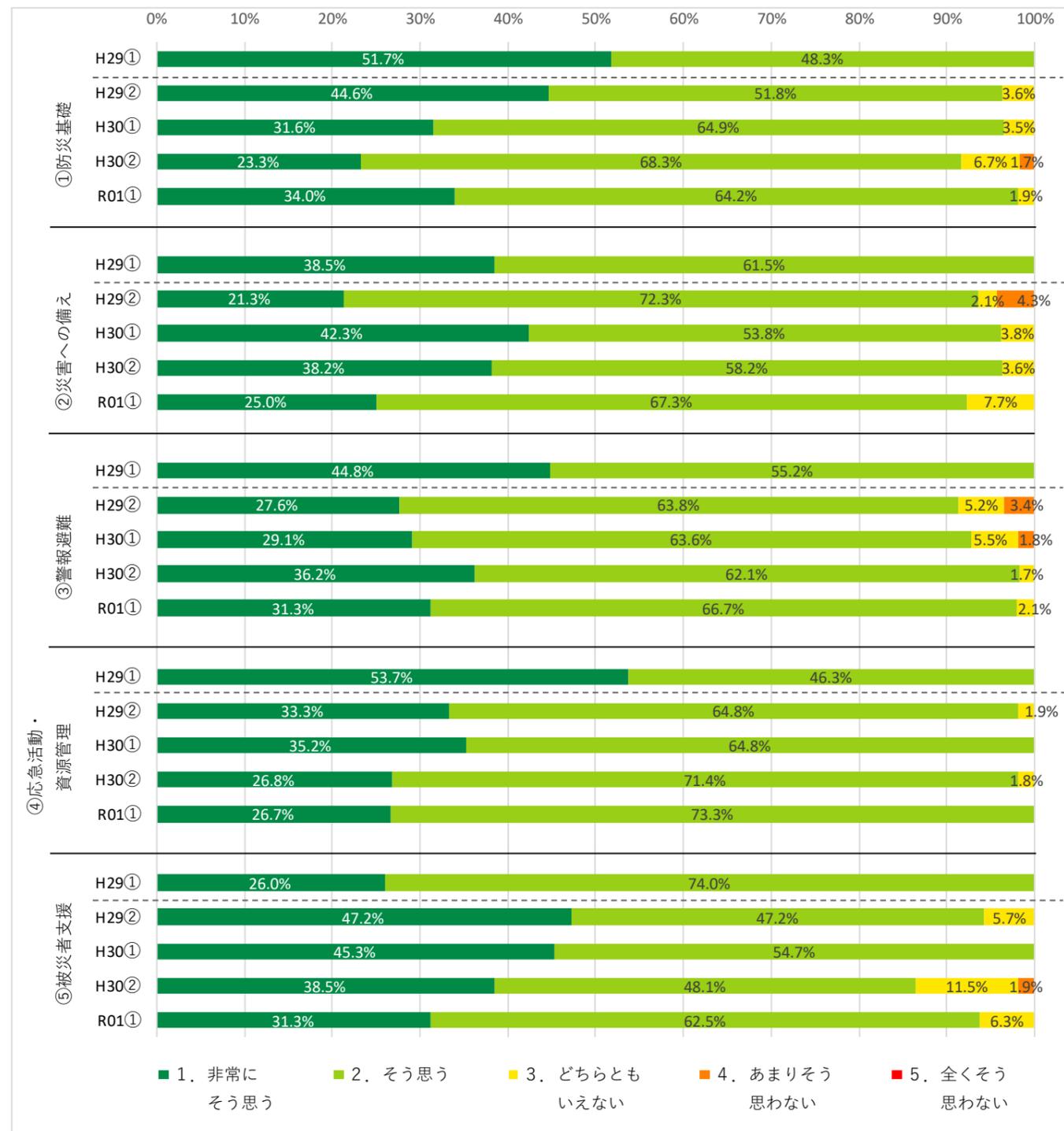
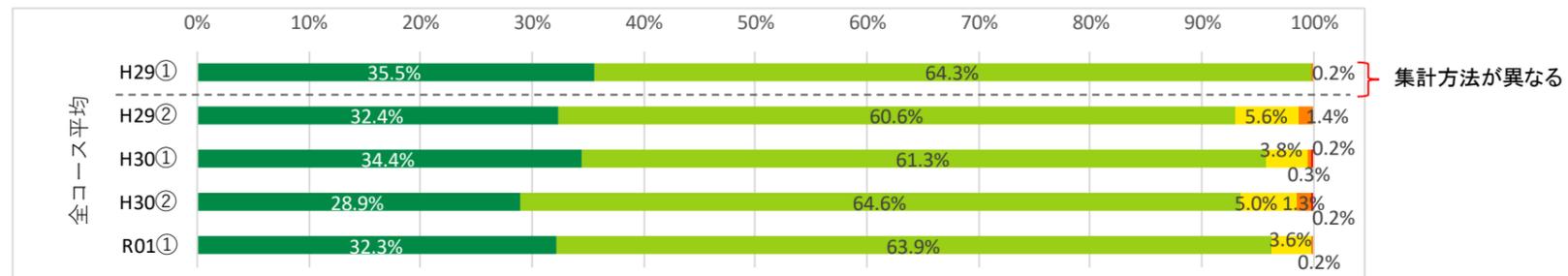
◎ 「テキストの視認性(見やすさ、分かりやすさ)や分量は適切でしたか？」の回答状況



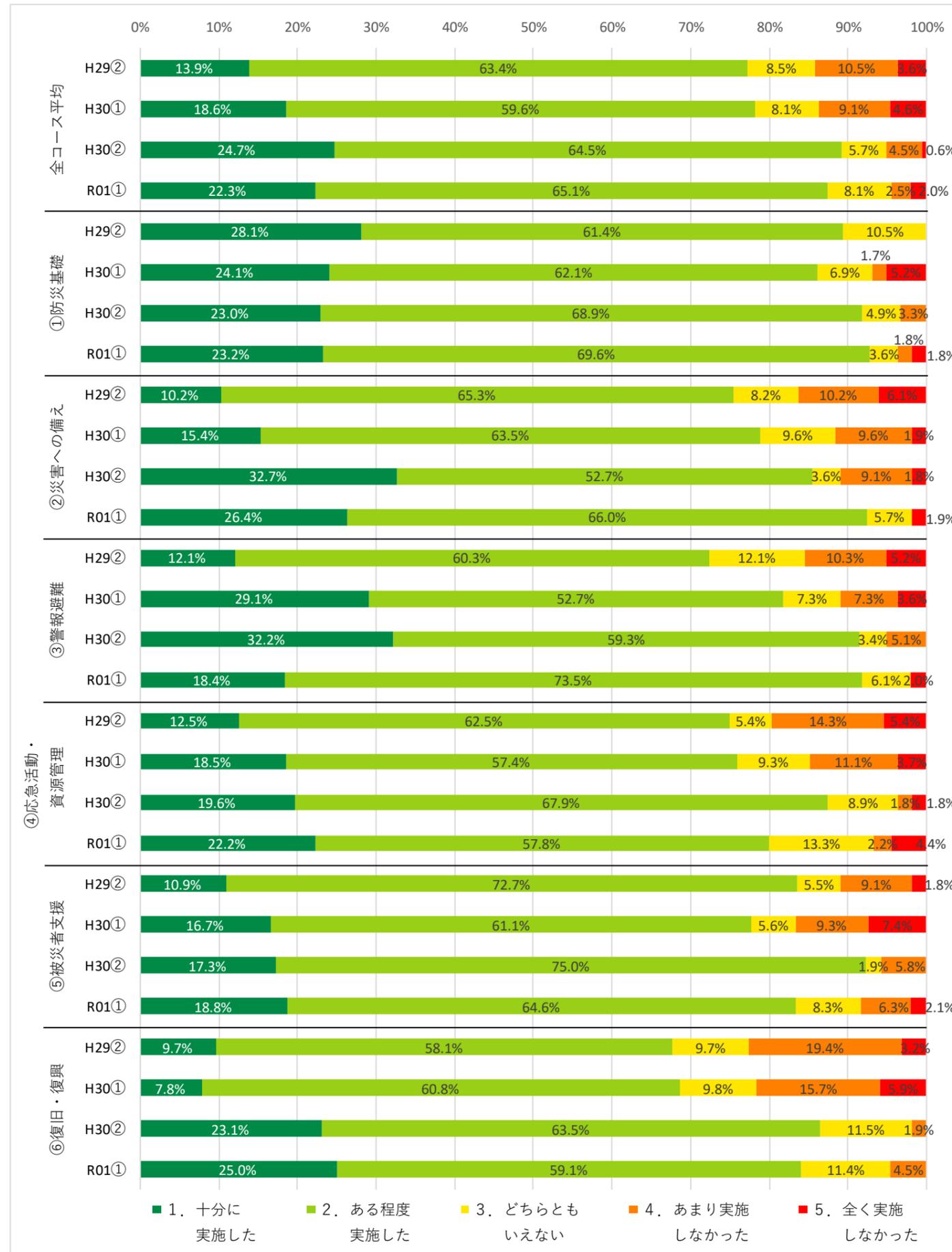
㊦ 「本研修は、期待したとりの内容でしたか？」の回答状況



㊦ 「カリキュラムは適切でしたか？」の回答状況



㊦ 「事前学習を実施しましたか？」の回答状況

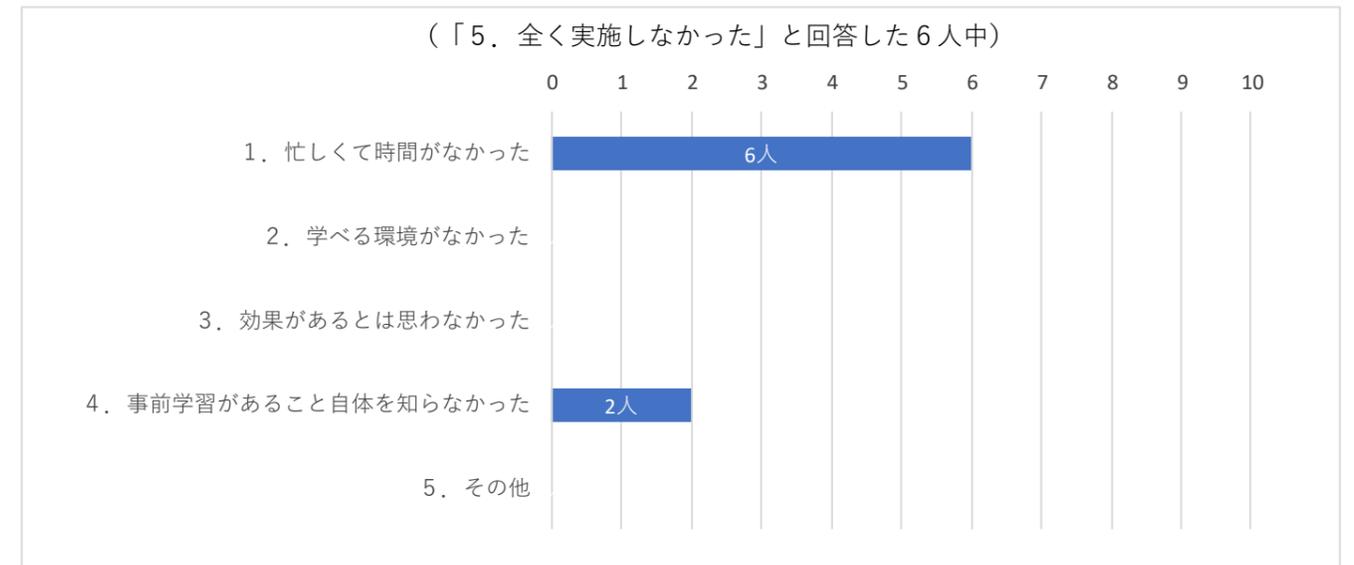


(「全く実施しなかった」と回答した人のみ)

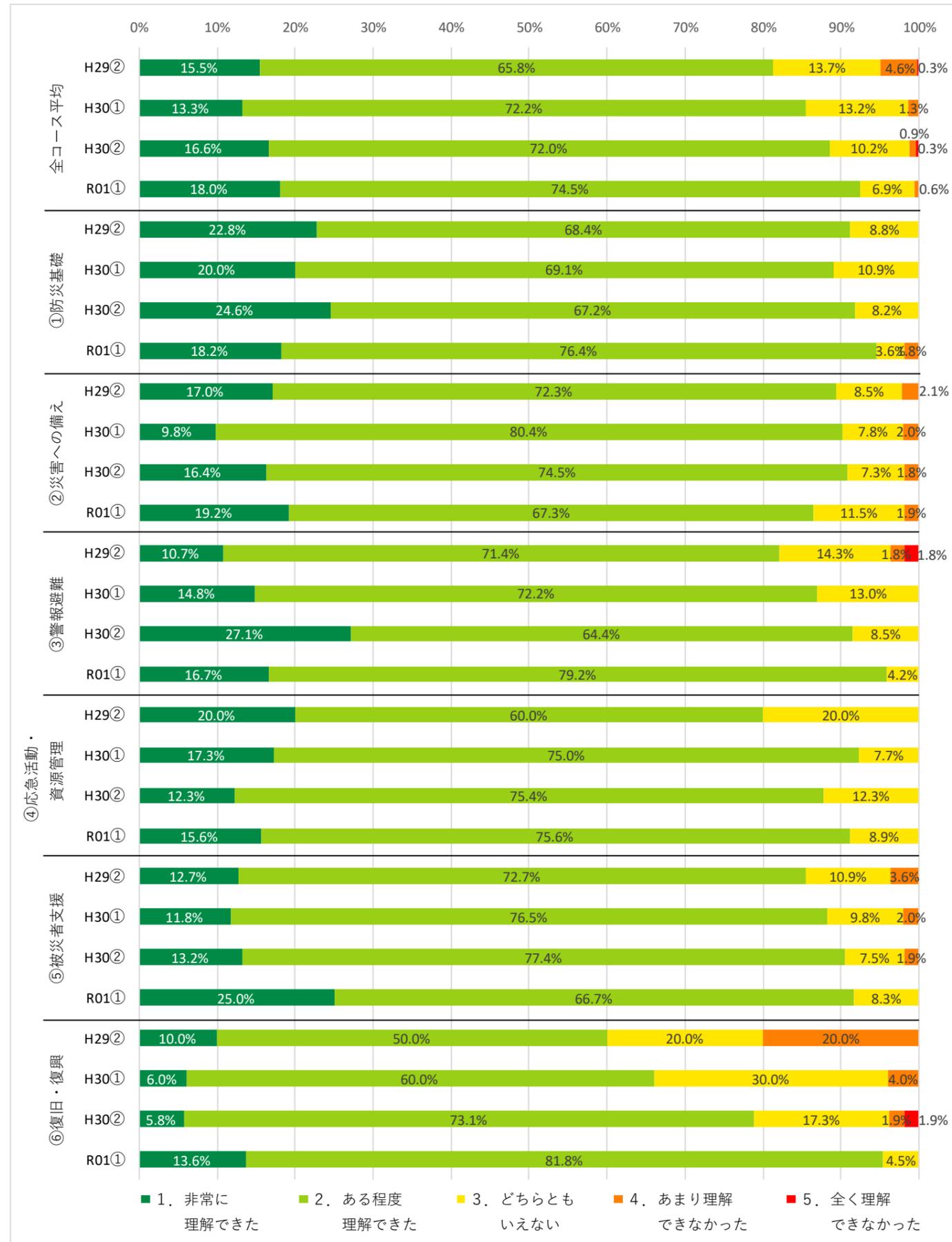
「事前学習に取り組まなかった理由」の回答状況(対象者6人)

Q.事前学習を「5.全く実施しなかった」と回答された方にお尋ねします。

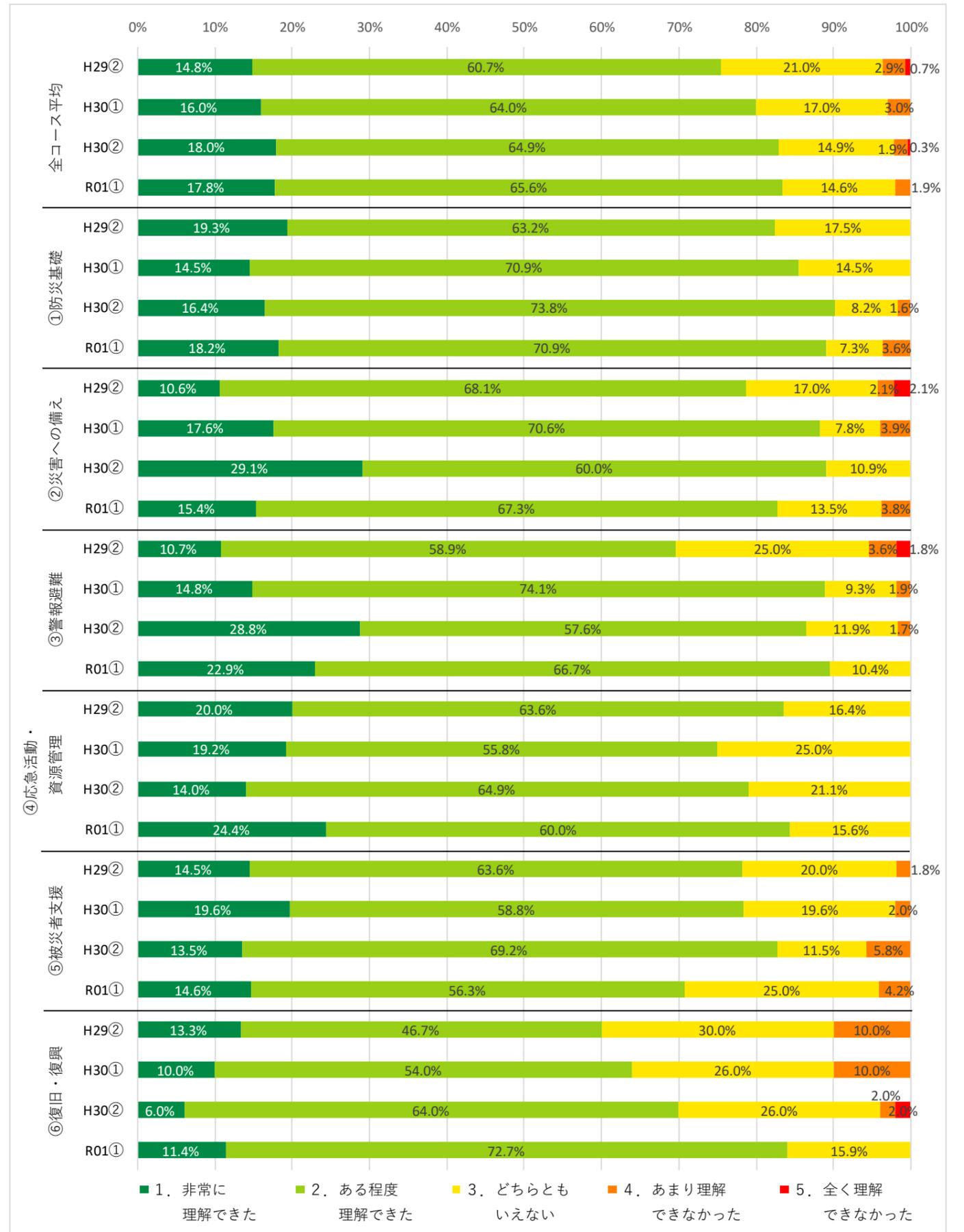
事前学習に取り組まなかった理由は何ですか？(複数回答可)



㊦ 「事前学習を通じてコースで何について学ぶのが理解できましたか？」の回答状況



㊦ 「事前学習を通じて、自分のわからないことを確認できましたか？」の回答状況



## 令和元年度 有明の丘研修(第1期) 人的ネットワーク構築に関する結果まとめ

### ○ 各コースの取組内容

令和元年度 第1期では、平成30年度 第2期に引き続き、人的ネットワーク活性化の方策として「名刺交換の場の確保」、「演習の班替え」を各コースで積極的に導入する取組を実施した。

コース名	取 り 組 み				交流会
	名 刺 交 換		演 習 班 替 え		
	有 無	実施タイミング	実 施 内 容	実施タイミング	
全コース共通	—	—	名刺の持参を受講決定通知書で案内	—	—
①防災基礎	○	1日目の 1限目・5限目	コーディネーターが名刺交換を促し	演習時にメンバーを入れ替え(1回)	○ (外会場)
②災害への備え	○	1日目・2日目の 昼休み 後半30分	名刺交換会を実施	演習時にメンバーを入れ替え(1回)	○ (食堂)
③警報避難	○	1日目の 昼休み後半15分、 集合写真撮影後	名刺交換会を実施	演習時にメンバーを入れ替え(1回)	○ (外会場)
④応急活動・ 資源管理	○	1日目の1限目	コーディネーターが名刺交換を促し	演習時にメンバーを入れ替え(2回)	○ (食堂)
⑤被災者支援	○	1日目の1限目	総論を早めに終了し、 班ごとに集まって名刺交換を実施	班替えなし	○ (名刺交換内で 交流)
		1日目の 集合写真撮影後	班メンバー以外の人との 名刺交換会を実施		
⑥復旧・復興	○	1日目の 昼休み 後半30分	名刺交換会を実施	班替えなし	○ (外会場)
⑦指揮統制	○	1日目の 集合写真撮影後	コーディネーターが名刺交換を促し	1日目と2日目で メンバーを 入れ替え	○ (外会場)
⑧対策立案	○	1日目の 集合写真撮影後	名刺交換会を実施	1日目と2日目で メンバーを 入れ替え	○ (外会場)
⑨人材育成	○	1日目の 集合写真撮影前	名刺交換会を実施	演習時にメンバーを入れ替え(2回)	○ (外会場)
⑩総合監理	○	1日目の 集合写真撮影後	名刺交換会を実施	1日目と2日目で メンバーを 入れ替え	○ (外会場)

# ○ 令和元年度 第1期 最終日アンケート結果(人的ネットワーク)

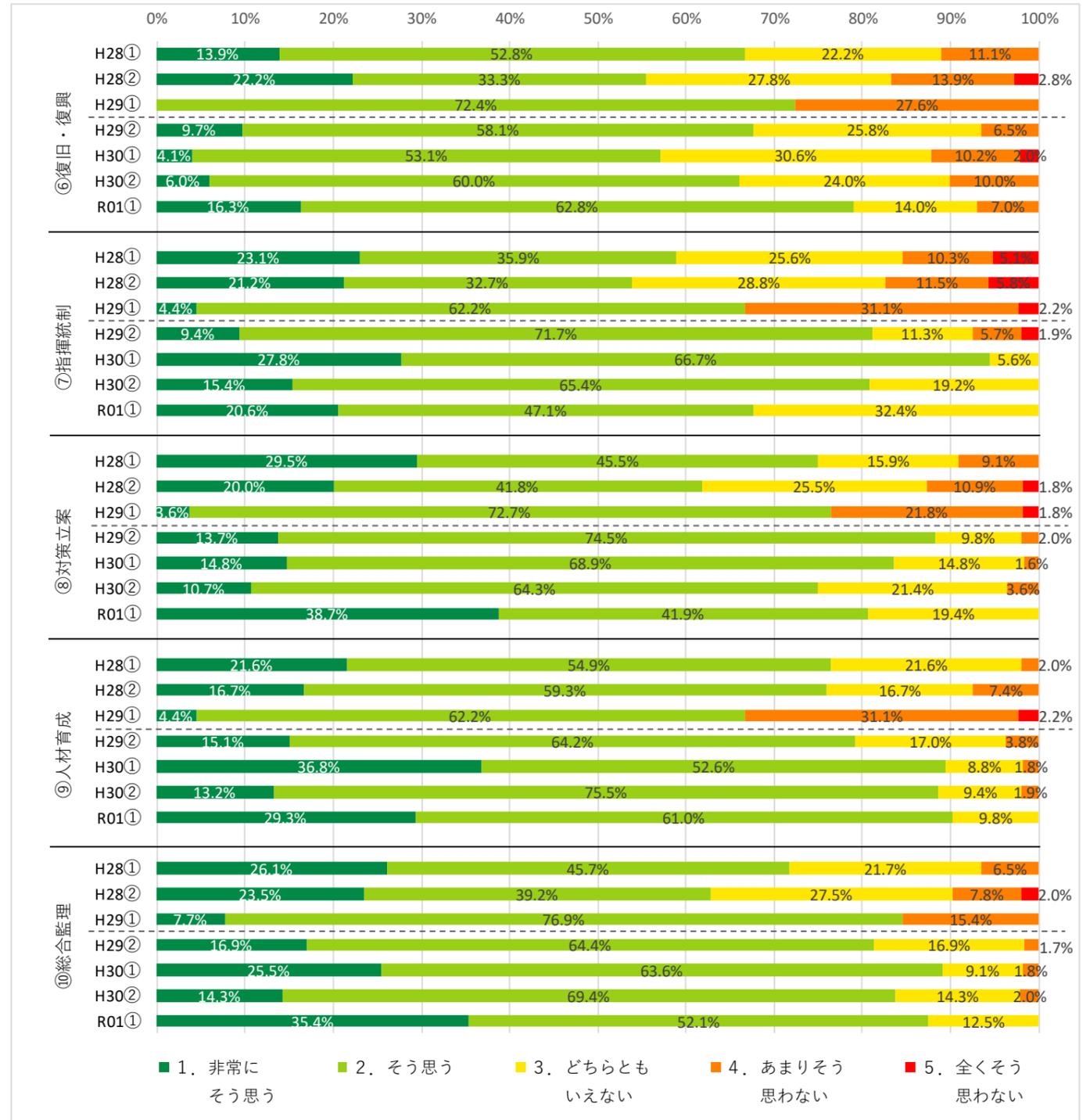
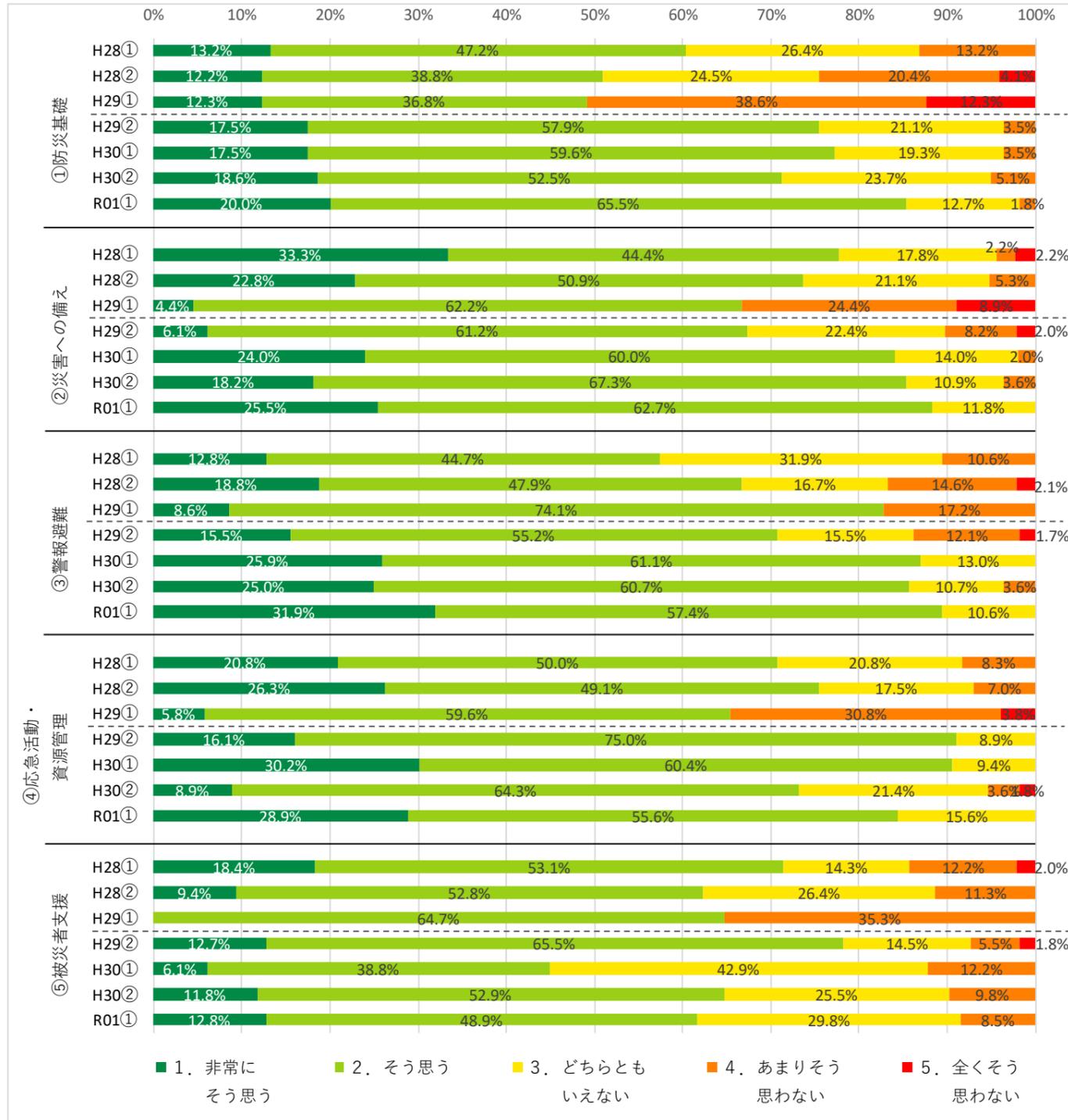
最終日アンケートの問いである「人的ネットワークを作ることができましたか?」の回答状況を令和元年度1期の回答とこれまでの回答状況を比較した。

## 【比較結果】

● 全体として例年以上の水準となっており、特に「1. 非常にそう思う」は25.9%と非常に高い数値になっている。



集計方法が異なる



■ 1. 非常にそう思う ■ 2. そう思う ■ 3. どちらともいえない ■ 4. あまりそう思わない ■ 5. 全くそう思わない

○ 令和元年度 第1期 最終日アンケート 自由回答意見

※人的ネットワークに関する意見のみ抜粋

※赤字下線部の要望については、具体的な対応策を記載

コース名	分類	自由回答意見
①防災基礎	要望	「異動しても連絡先をアップデートできる」ような仕組み作りをお願いしたいです。タイミングや時間がとれず名刺交換ができなかった受講生や講師とも連絡先を交換できるとよいです。
②災害への備え	良	普段、交流することのできない自治体の方々とお話しすることができて、大変刺激的でした。
	要望	単元テストの回収をしているうちに <b>講師が控室に戻ってしまうので名刺交換するタイミングを作る配慮をしていただきたい。</b>
	要望	研修後、異動するなどしても人的ネットワークを維持できるような仕組みづくりをお願いします(インターネットを活用するなど)。
	要望	内閣府(防災担当)の人をかためて配席しないでほしい。隣に座った人と一番、情報交換できるため。
③警報避難	要望	人的ネットワークの形成は、全国レベルではなく、ブロック別にやるとよいかな。 例)北関東ブロック、東北ブロックなど。
④応急活動・資源管理		意見なし
⑤被災者支援	要望	座学が多い構成は一考の余地があると思います。演習多めの方が同じ班でコミュニケーションが取れたと思います。参加した受講生の所属を見ると、直接被災者支援を担当されない(と思われる)方も散見され、名刺交換の機会は特になかったです。
	要望	<b>名刺交換を強制するのをやめていただきたい。</b>
	悪	名刺交換時間に帰られる方もあり、充分に交流を深めることができず、残念でした。

コース名	分類	自由回答意見
⑥復旧・復興	良	初めて、参加し、大変、有意義に勉強、人脈形成できたと思います。
	良	交流会を設けていただき、ありがとうございました。
⑦指揮統制		意見なし
⑧対策立案	要望	<b>研修生のネットワークを継続するため、また会えるような機会がほしい。</b>
⑨人材育成	良	討議型が多く、研修生との顔つなぎができた。
⑩総合監理	良	多くの防災業務に携わる皆様と研修を受講させていただき、繋がりが出来たことが良かった。(同じ悩みをかかえている)

**【要望に対する具体的な対応策】**

**○ 講師が控室に戻ってしまうので名刺交換するタイミングを作る配慮をしていただきたい**

⇒あらかじめ講師に講義終了後の休憩時間に名刺交換を希望される受講生がいる場合があることを伝え、休み時間まではなるべく研修会場にいてもらうようご案内する。

**○ 名刺交換を強制するのをやめていただきたい**

⇒名刺交換が必要であることの意義を受講者に伝える。  
・「受講のしおり」に記載する。 ・コーディネーターに講義内で伝えてもらう。

**○ 研修生のネットワークを継続するため、また会えるような機会がほしい**

⇒閉講式の挨拶でフォローアップ研修等を実施していることを伝えてもらう。

# 令和元年度 有明の丘研修(第1期) 確認テスト実施結果

## 1. 確認テスト改善の取組み

確認テストの改善として、平成30年度第2期に引き続き、以下の取組みを実施した。

### 【第1期での取組】

- 平成30年度第2期で正答率70%未満だった問題に着目し、ワーキンググループで問題文を見直した。
- 問題文が悪問ならば問題文を見直し、悪問でなければ各講師に講義中で教えていただけるよう依頼した。
- 講師に問題文の確認を依頼し、修正意見があれば修正を反映した。

## 2. 令和元年度第1期 確認テスト結果

令和元年度第1期の確認テストの結果を、平成29年度からの結果と比較した。

	令和元年度											平成30年度		平成29年度		
	第1期											第2期	第1期	第2期	第1期	
	1 防災基礎	2 災害への備え	3 警報避難	4 応急資源管理・	5 被災者支援	6 復旧・復興	7 指揮統制	8 対策立案	9 人材育成	10 総合監理	全コース合計	全コース合計	全コース合計	全コース合計	全コース合計	
単元別テスト	テスト実施数(単元数)	6	8	6	7	8	7	6	4	4	5	61	61	62	62	63
	総問数	35	40	30	35	40	40	30	21	20	30	321	321	321	321	329
	正答率(平均)	86.7%	95.0%	89.4%	95.9%	92.2%	88.4%	89.8%	89.6%	93.0%	89.5%	91.0%	89.0%	89.6%	87.0%	84.9%
	正答率70%未満の問数	3	1	1	0	2	2	2	1	1	3	16	25	26	38	52
最終テスト	問数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	100	100	100	100	100
	正答率(平均)	92.3%	97.3%	91.6%	99.1%	95.3%	92.2%	92.4%	96.3%	92.2%	90.0%	93.9%	94.2%	95.1%	84.6%	93.2%
	正答率70%未満の問数	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	1	1	3	4
比較	最終テスト問題の単元別テストでの正答率	83.5%	93.1%	88.2%	94.1%	93.1%	84.0%	91.5%	93.9%	91.3%	82.1%	89.5%	90.5%	90.0%	89.0%	89.0%
	正答率の上昇値	8.9%	4.1%	3.4%	5.1%	2.2%	8.2%	0.9%	2.4%	0.9%	7.9%	4.4%	3.7%	5.1%	-4.4%	4.2%

### 【単元別テスト】

- コース全体の正答率の平均は、平成29年度第1期(84.9%)⇒平成29年度第2期(87.0%)⇒平成30年度第1期(89.6%)⇒平成30年度第2期(89.0%)⇒令和元年度第1期(91.0%)と80%以上で推移
- 正答率70%未満の問数は、平成29年度第1期(52問)⇒平成29年度第2期(38問)⇒平成30年度第1期(26問)⇒平成30年度第2期(25問)⇒令和元年度第1期(16問)と大幅に減少

### 【最終テスト】

- コース全体の正答率の平均は、平成29年度第1期(93.2%)⇒平成29年度第2期(84.6%)⇒平成30年度第1期(95.1%)⇒平成30年度第2期(94.2%)⇒令和元年度第1期(93.9%)と80%以上で推移
- 正答率70%未満の問数は、平成29年度第1期(4問)⇒平成29年度第2期(3問)⇒平成30年度第1期(1問)⇒平成30年度第2期(1問)⇒令和元年度第1期(2問)と1問増えている。

## eラーニング「事前学習」の実施結果

### 1.eラーニングの受講状況

#### (1)テキスト

テキストの修了率はほとんどのコースで9割を超えている。

有明の丘コース		eラーニング(今回)				(前回)	
コース名	受講者総数	共通コース 修了者数/率		個別コース 修了者数/率		共通コース 修了率	個別コース 修了率
①防災基礎	56人	53人	94.6%	53人	94.6%	96.8%	93.5%
②災害への備え	58人	53人	91.4%	53人	91.4%	87.7%	84.2%
③警報避難	51人	47人	92.2%	46人	90.2%	94.9%	93.2%
④応急活動・資源管理	49人	43人	87.8%	45人	91.8%	89.8%	88.1%
⑤被災者支援	50人	46人	92.0%	47人	94.0%	100.0%	94.5%
⑥復旧・復興	46人	45人	97.8%	44人	95.7%	94.3%	96.2%

#### (2)テスト

テストの修了率はほとんどのコースで9割を超えている。

有明の丘コース		eラーニング(今回)				(前回)	
コース名	受講者総数	共通コース 修了者数/率		個別コース 修了者数/率		共通コース 修了率	個別コース 修了率
①防災基礎	56人	54人	96.4%	53人	94.6%	93.5%	93.5%
②災害への備え	58人	51人	87.9%	54人	93.1%	82.5%	82.5%
③警報避難	51人	47人	92.2%	48人	94.1%	100.0%	98.3%
④応急活動・資源管理	49人	43人	87.8%	46人	93.9%	86.4%	91.5%
⑤被災者支援	50人	45人	90.0%	46人	92.0%	92.7%	94.5%
⑥復旧・復興	46人	45人	97.8%	44人	95.7%	94.3%	96.2%

### 2.テキストの閲覧時間

前回に比べテキストの閲覧にかかる時間に大きな差はなかった。

eラーニングコース名	テキスト		閲覧時間(平均)	(前回)
	単元数	ページ数	コース当たり	コース当たり
共通コース(6コース合計)	15	17	12分03秒	10分37秒
①防災基礎	8	66	23分39秒	28分11秒
②災害への備え	8	113	30分46秒	38分47秒
③警報避難	8	83	27分34秒	27分03秒
④応急活動・資源管理	7	69	29分49秒	17分01秒
⑤被災者支援	9	96	29分52秒	25分03秒
⑥復旧・復興	7	94	40分20秒	48分52秒

### 3. テストの結果

#### (1) コースの正答率

コース全体の正答率は前回の正答率と大きな差はみられない。

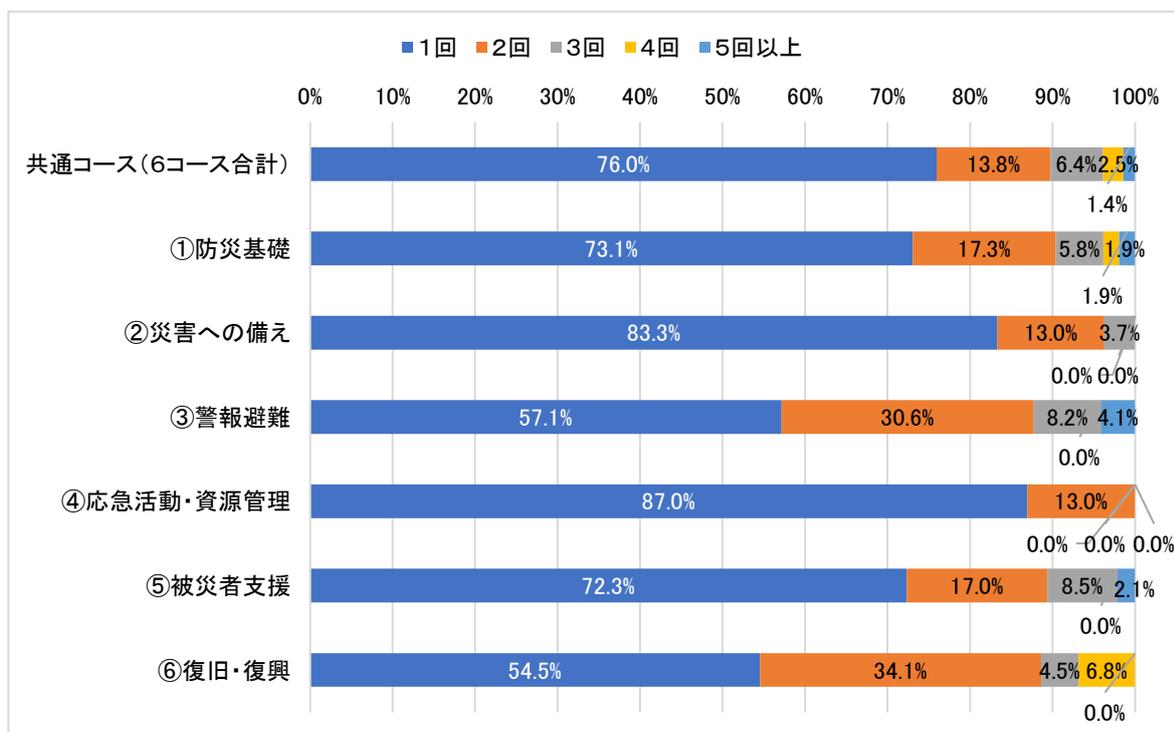
eラーニングコース名	(今回)			(前回)
	回答数合計	正解回答数	正答率	正答率
共通コース(6コース合計)	5,940	5,188	87.3%	89.4%
①防災基礎	616	552	89.6%	88.4%
②災害への備え	520	482	92.7%	88.0%
③警報避難	656	561	85.5%	89.4%
④応急活動・資源管理	364	355	97.5%	98.8%
⑤被災者支援	603	540	89.6%	89.0%
⑥復旧・復興	504	416	82.5%	87.8%

#### (2) テスト合格までのテスト実施回数ごとの人数

※各コースのテストの合格者のみ集計

eラーニングコース名	1回(人)	2回(人)	3回(人)	4回(人)	5回以上(人)	合計(人)
共通コース(6コース合計)	215	39	18	7	4	283
①防災基礎	38	9	3	1	1	52
②災害への備え	45	7	2	0	0	54
③警報避難	28	15	4	0	2	49
④応急活動・資源管理	40	6	0	0	0	46
⑤被災者支援	34	8	4	0	1	47
⑥復旧・復興	24	15	2	3	0	44

※今年度から「全問正解で合格」から「8割正解で合格」とした。



## 4. 単元の正答率

### (1) 共通コース(6コース合計)

前回の正答率と大きな差はみられない。

単元No	単元名	(今回)			(前回)
		回答数合計	正解回答数	正答率	正答率
1	防災の基本理念	396	352	88.9%	92.1%
2	防災マネジメント	396	271	68.4%	74.6%
3	地域の災害リスク	396	336	84.8%	88.0%
4	ハザードの理解	396	304	76.8%	82.0%
5	地域の脆弱性の理解	396	353	89.1%	91.2%
6	法制度・計画	396	332	83.8%	87.2%
7	災害関連法	396	305	77.0%	79.0%
8	防災計画	396	318	80.3%	83.2%
9	災害対策	396	357	90.2%	94.0%
10	災害への備え	396	352	88.9%	88.9%
11	警報避難	396	385	97.2%	97.3%
12	応急活動	396	373	94.2%	94.7%
13	被災者支援	396	385	97.2%	95.9%
14	復旧・復興	396	387	97.7%	96.9%
15	組織運営	396	378	95.5%	95.8%

### (2) 個別コース

#### ① 防災基礎コース

正答率が70%未満の単元なし。

単元No	単元名	(今回)			(前回)
		回答数合計	正解回答数	正答率	正答率
1	防災基礎総論	77	72	93.5%	94.6%
2	ハザードのメカニズムと実態(風水害)	77	63	81.8%	82.3%
3	ハザードのメカニズムと実態(火山)	77	76	98.7%	97.7%
4	ハザードのメカニズムと実態(地震・津波)	77	61	79.2%	90.0%
5	地域の脆弱性と被害の実態	77	74	96.1%	93.8%
6	防災行政概要／災害法体系／防災計画(①全体概要)	77	68	88.3%	80.0%
7	防災行政概要／災害法体系／防災計画(②災害法体系)	77	67	87.0%	77.7%
8	防災行政概要／災害法体系／防災計画(③防災計画)	77	71	92.2%	90.8%

## ②災害への備えコース

正答率が70%未満の単元なし。

単元No	単元名	(今回)			(前回)
		回答数合計	正解回答数	正答率	正答率
1	「災害への備え」総論	65	58	89.2%	94.7%
2	「災害への備え」としての地域防災計画	65	57	87.7%	81.1%
3	防災教育・災害教訓の伝承	65	62	95.4%	84.2%
4	企業防災	65	62	95.4%	86.3%
5	行政のBCM	65	62	95.4%	90.5%
6	住民啓発	65	61	93.8%	84.2%
7	地域の自主的な防災活動	65	65	100.0%	92.6%
8	災害ボランティア	65	55	84.6%	90.5%

## ③警報避難コース

正答率が70%未満の単元なし。

単元No	単元名	(今回)			(前回)
		回答数合計	正解回答数	正答率	正答率
1	警報避難総論	82	63	76.8%	85.4%
2	警報等の種類と内容	82	75	91.5%	87.8%
3	避難勧告等の判断・伝達	82	68	82.9%	92.7%
4	土砂災害における警報と避難	82	72	87.8%	95.1%
5	土砂災害の事例に学ぶ	82	66	80.5%	88.6%
6	風水害における警報と避難	82	76	92.7%	87.8%
7	風水害におけるタイムライン計画	82	70	85.4%	93.5%
8	避難場所・避難所の認定と適否判断	82	71	86.6%	84.6%

## ④応急活動・資源管理コース

正答率が70%未満の単元なし。

単元No	単元名	(今回)			(前回)
		回答数合計	正解回答数	正答率	正答率
1	応急活動・資源管理総論	52	52	100.0%	100.0%
2	初動対応における国との連携	52	50	96.2%	100.0%
3	地方公共団体間の相互応援と受援体制	52	52	100.0%	98.3%
4	災害廃棄物処理	52	51	98.1%	98.3%
5	救援物資の調達	52	49	94.2%	98.3%
6	救援物資の輸配送	52	50	96.2%	100.0%
7	活動拠点・環境の確保	52	51	98.1%	96.7%

### ⑤被災者支援コース

正答率が70%未満の単元なし。

単元No	単元名	(今回)			(前回)
		回答数合計	正解回答数	正答率	正答率
1	被災者支援総論	67	59	88.1%	90.8%
2	災害救助法と生活再建支援法	67	57	85.1%	77.1%
3	避難所のライフサイクル	67	50	74.6%	95.4%
4	避難所運営の実際	67	67	100.0%	81.7%
5	避難所のライフサイクル(演習)	67	67	100.0%	97.7%
6	避難生活の支援	67	58	86.6%	80.2%
7	医療による被災者支援	67	58	86.6%	87.8%
8	多様な主体による被災者支援／被災者支援の個別課題	67	65	97.0%	97.7%
9	生活再建支援業務	67	59	88.1%	92.4%

### ⑥復旧・復興コース

正答率が70%未満の単元なし。

単元No	単元名	(今回)			(前回)
		回答数合計	正解回答数	正答率	正答率
1	復旧・復興総論	72	58	80.6%	83.0%
2	公共基盤の復旧(基盤復興Ⅰ)	72	60	83.3%	87.5%
3	仮設住宅(生活復興Ⅰ)	72	53	73.6%	84.8%
4	コミュニティ再生(社会復興)	72	52	72.2%	84.8%
5	市街地の復興まちづくり(基盤復興Ⅱ)	72	65	90.3%	91.1%
6	住まいの再建(生活復興Ⅱ)	72	64	88.9%	92.0%
7	地域産業の復興と雇用確保(産業復興)	72	64	88.9%	91.1%

### (3)コースごとの正答率70%未満のテスト数

テストの内容を見直す必要がある。

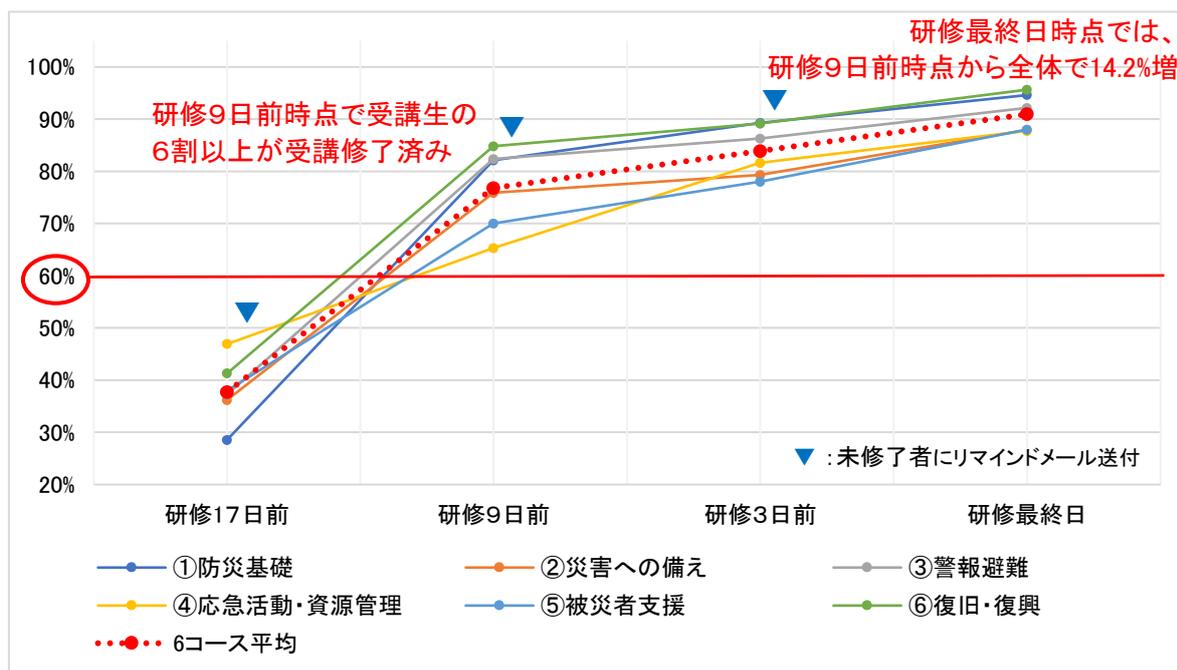
eラーニングコース名	単元数	登録テスト数	正答率70%未満のテスト数
共通コース(6コース合計)	15	67	8
①防災基礎	8	43	5
②災害への備え	8	68	6
③警報避難	8	51	10
④応急活動・資源管理	7	38	0
⑤被災者支援	9	43	7
⑥復旧・復興	7	51	9

正答率が70%未満のテストがある

#### (4) テスト修了者数の変化

共通コース・個別コースの両方ともテストを修了した受講生を対象に集計。

コース名	受講者総数	eラーニング テスト							
		修了者数(人)				修了率			
		(講師等報告用集計締切7日前)	(講師等報告用集計締切翌日)	研修3日前	研修最終日	(講師等報告用集計締切7日前)	(講師等報告用集計締切翌日)	研修3日前	研修最終日
①防災基礎	56人	16	46	50	53	28.6%	82.1%	89.3%	94.6%
②災害への備え	58人	21	44	46	51	36.2%	75.9%	79.3%	87.9%
③警報避難	51人	19	42	44	47	37.3%	82.4%	86.3%	92.2%
④応急活動・資源管理	49人	23	32	40	43	46.9%	65.3%	81.6%	87.8%
⑤被災者支援	50人	19	35	39	44	38.0%	70.0%	78.0%	88.0%
⑥復旧・復興	46人	19	39	41	44	41.3%	84.8%	89.1%	95.7%
6コース合計	310人	117	238	260	282	37.7%	76.8%	83.9%	91.0%



上記の結果から研修3日前のリマインドメールの送付は不要と思われる。

## eラーニング「事前学習」のアンケート集計結果

### <アンケートの概要>

#### (1) 調査対象および回収結果

※研修を欠席した者は除く。

コース名	個別コース テスト 合格者数 (人)	アンケート 回収数 (人)	アンケート 回収率 (%)
①防災基礎	56	53	94.6%
②災害への備え	58	54	93.1%
③警報避難	51	49	96.1%
④応急活動・資源管理	49	46	93.9%
⑤被災者支援	50	46	92.0%
⑥復旧・復興	46	44	95.7%
合 計	310	292	94.2%

#### (2) 調査期間

①防災基礎	令和元年8月5日(月)～令和元年8月26日(月)
②災害への備え	令和元年8月8日(木)～令和元年8月29日(木)
③警報避難	令和元年8月9日(金)～令和元年9月2日(月)
④応急活動・資源管理	令和元年9月5日(木)～令和元年9月26日(木)
⑤被災者支援	令和元年8月23日(金)～令和元年9月13日(金)
⑥復旧・復興	令和元年8月21日(水)～令和元年9月11日(水)

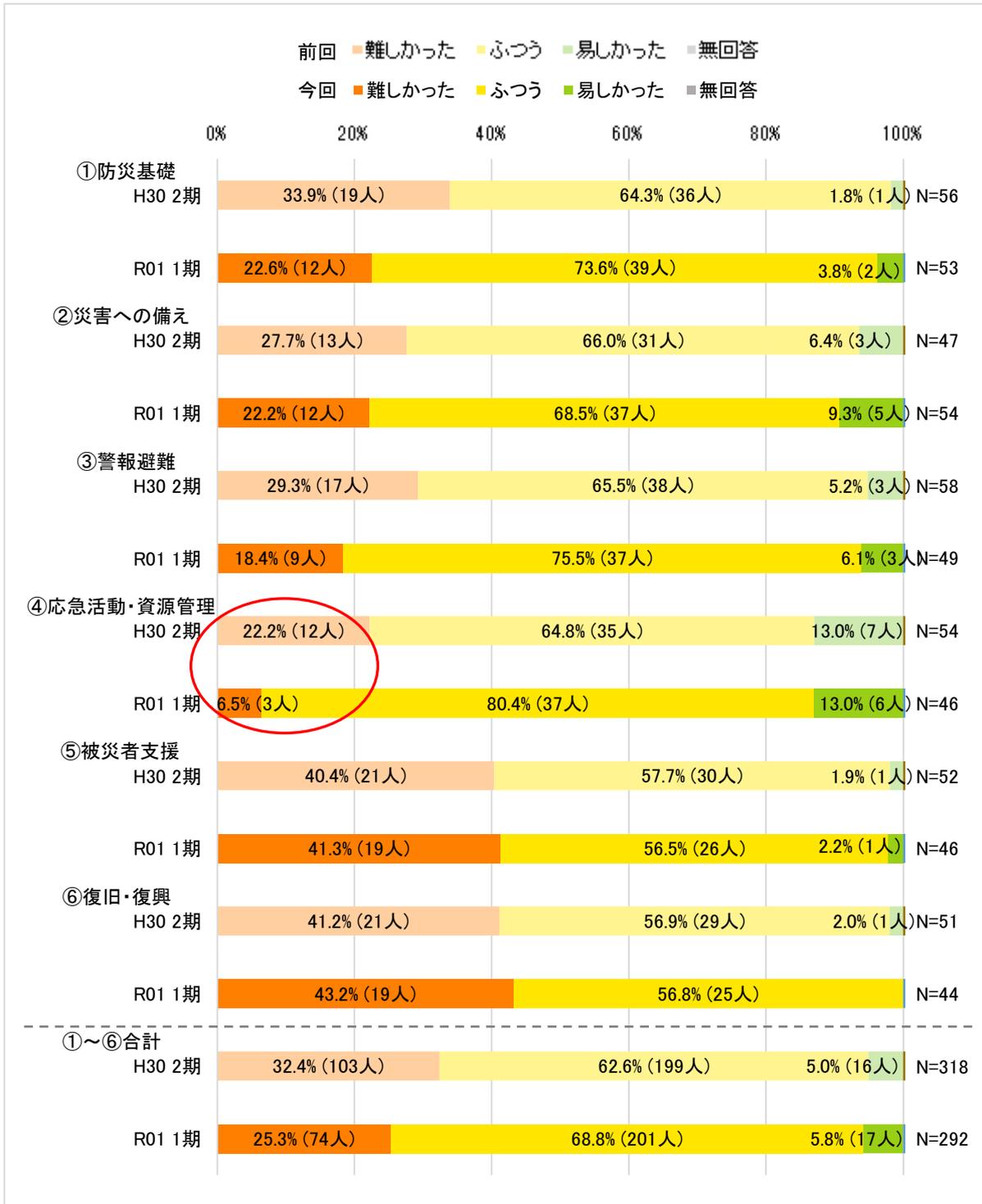
#### (3) 調査方法

LMS上でアンケートを実施

# 1. 事前学習の難易度

Q1.事前学習は難しかったですか？

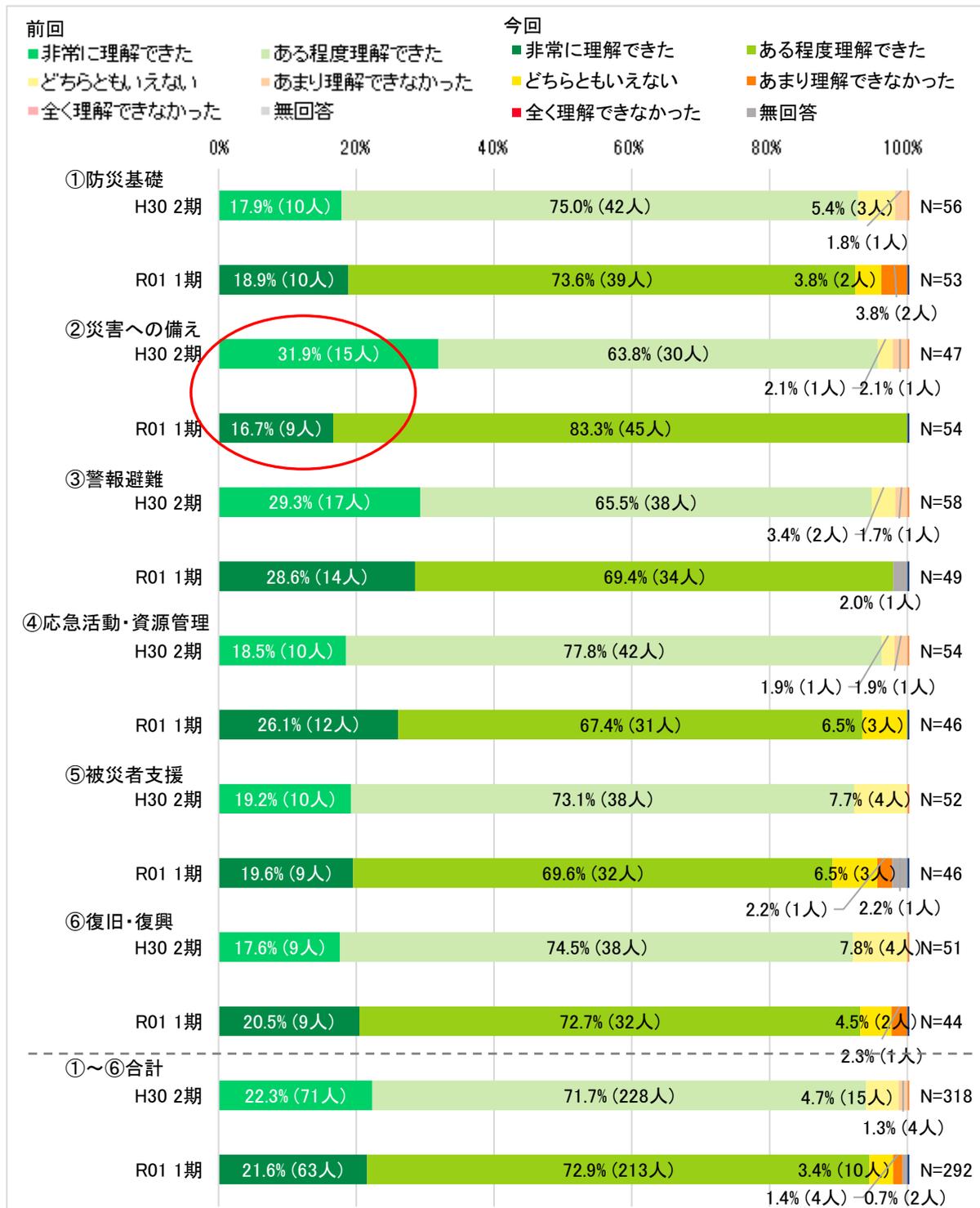
応急活動・資源管理は前回と比較すると、「難しかった」と回答した人の割合は減少している。



## 2. 何を学ぶかの理解度

Q2.受講するコースで、何について学ぶのが理解できましたか？

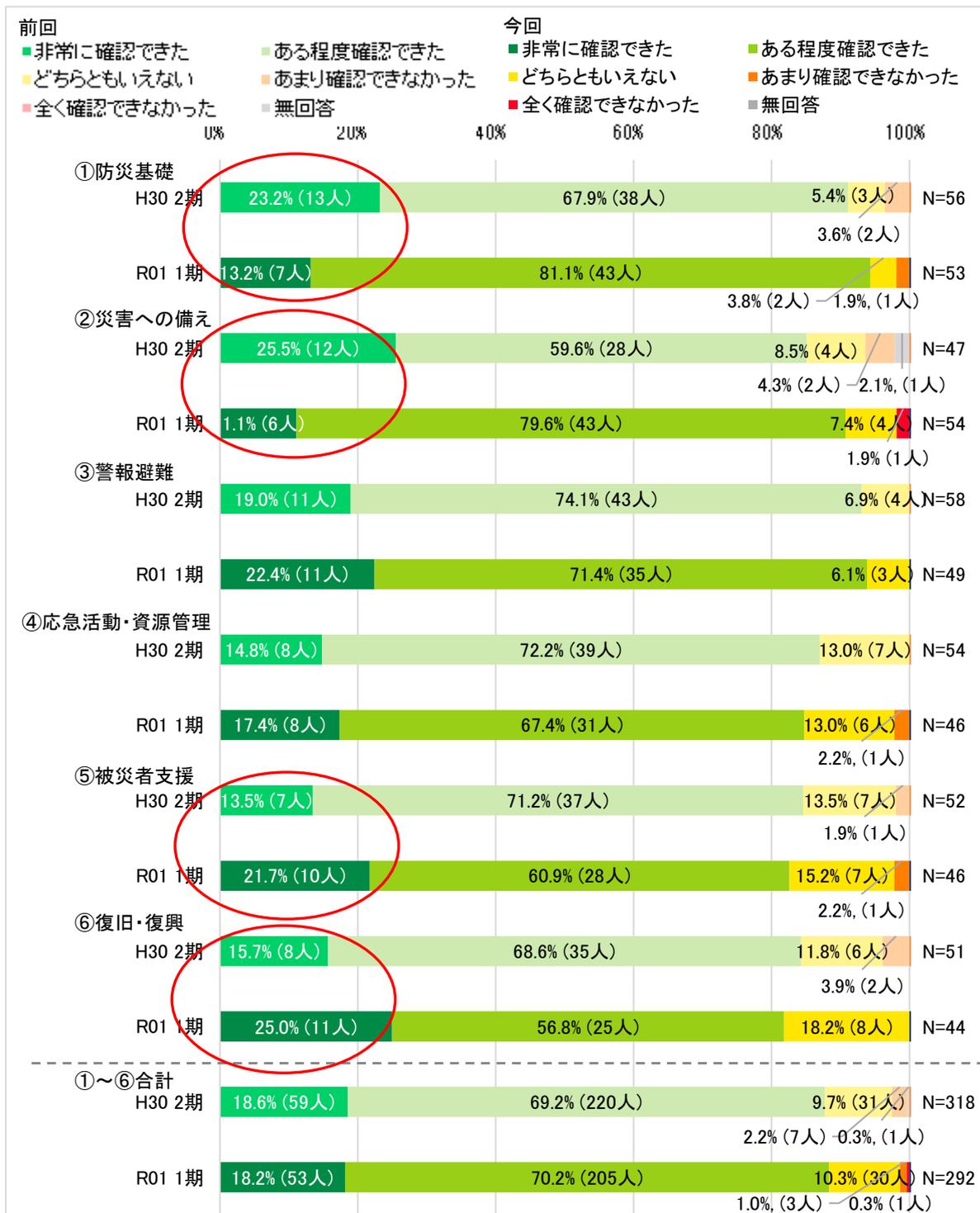
災害への備えは前回と比較すると、「非常に理解できた」と回答した人の割合は減少している。



### 3. 自分のわからないことの確認度合い

Q3.自分のわからないことを確認できましたか？

防災基礎と災害への備えは前回と比較すると、「非常に確認できた」と回答した人の割合は減少している。被災者支援と復旧・復興は前回と比較すると「非常に確認できた」と回答した人の割合は増加している。



## 4. 事前学習の内容で分からなかった箇所

Q4.事前学習の内容で分からなかった箇所がありましたら、ご記入ください。

事前学習の内容で分からなかった箇所は、コーディネーター・講師に研修8日前にお知らせし、講師には、講義で触れていただくよう依頼した。

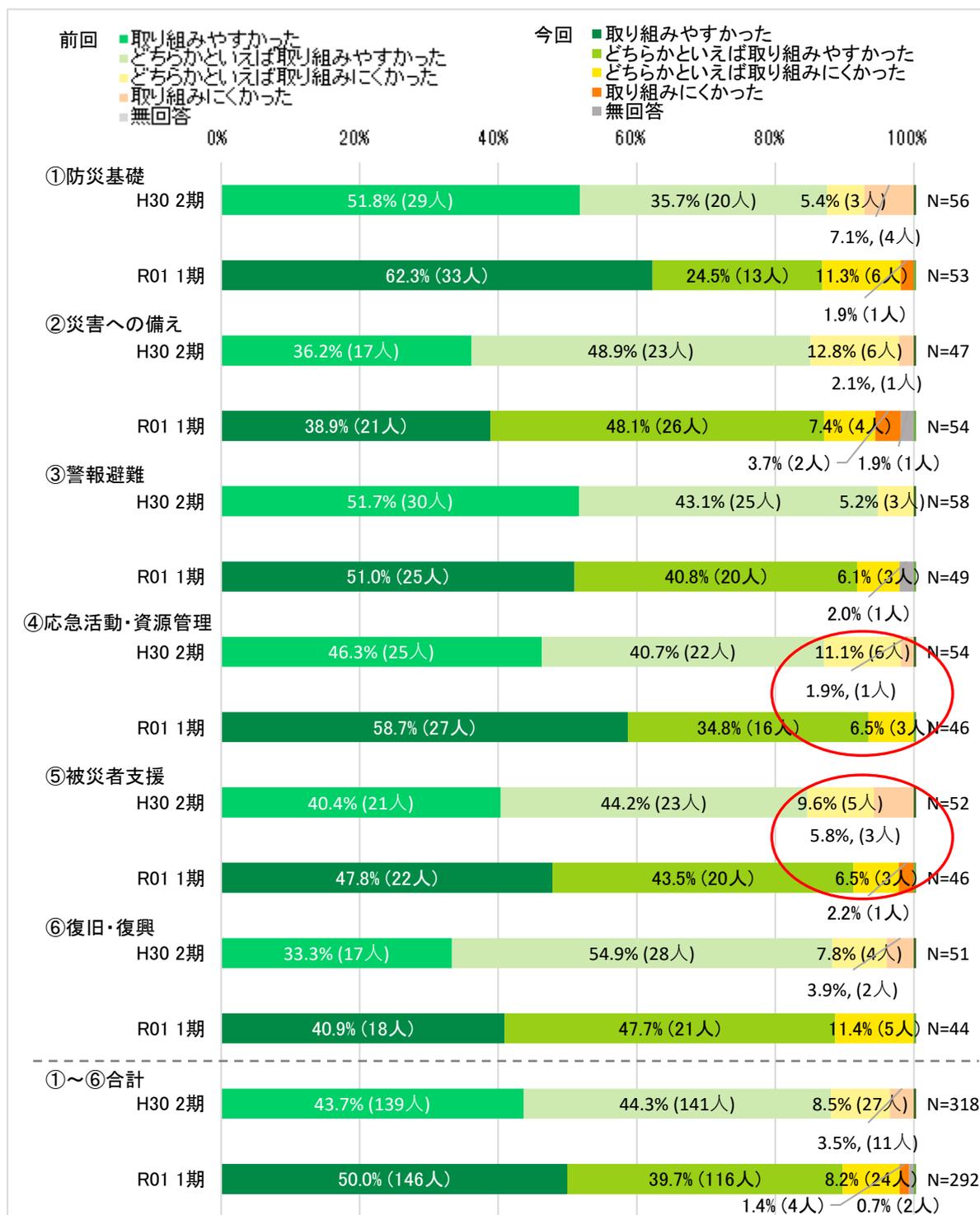
コース	分からなかった箇所
共通コース	共通コース 法制度
①防災基礎	単元6・7 防災行政概要/災害法体系/防災計画
	単元6・7のP4②災害対策の流れ項目中で、災害への備えとして「減災対策」、「被害抑止対策」とあり、同じくP8③主な「事前対策」業務の概要、実施上のポイント項目中の災害への備え(災害予防)は「被害抑止対策」と「災害対応基準対策」とあるが、災害対策と事前対策の区別の仕方として捉えてよろしいのでしょうか。
	災害法体系について、個別法や適用される時期(応急時、復興・復旧時)や内容など細かく分類されており、一回だけでは正しく理解ができなかった。
②災害への備え	ジャンルの幅が広い領域でもあり、BCPIについてはもう少し掘り下げて頂くと今後の勉強になるかと思いました。
	ボランティアの項目の中で、「地域の受援力」とは、具体的にどういったことなのか、理解できない。箱モノの受け皿の大きさや、物資や人の仕分けができるノウハウを持った人的な資源が豊富ということでしょうか。
	用語がどうしても混乱する。類似の言葉が多く、勘違いしやすい。
	BCMIについて
	単元6 行政のBMCにおいて、恒常的な業務の継続と災害対応をどのように両立するのかについて具体的に理解できるとありがたい。
③警報避難	各種法令に関する部分は自主的に補う必要があると感じました。
	タイムライン作成の詳細
	単元5土砂災害の事例に学ぶ スネークラインの仕組み～スネークラインからの危機的状況の判断
	研修時に、単元5のスネークラインについて詳しく勉強できればありがたい。
④応急活動・資源管理	産廃処理に関する手法説明、事例等の説明があると良いと思います。
	発災後の緊急輸送ルートの確保について、大規模災害時の通信困難な状況下における通行可否等の情報収集の具体的な手法、啓開に必要な人員など、最近の事例や検討すべき課題などがありましたらご教授いただきたいと存じます。

コース	分からなかった箇所
⑤被災者支援	各項目について、過去の事例及びパワーポイントとして特質的な要素を盛り込んで頂くと、なお良いかと思いました。
	全体を通じて分からないというよりは、初めて知る法律・専門用語・概念が大変多くあり、短期間のうちに基礎知識として身につけるには容易ではないように感じた。研修当日まで本テキストを参照し、引き続き理解に努めていきたいと思う。
⑥復旧・復興	専門用語の解説等が付録としてあれば、なお学習し易いかと思いました。
	被災者の生活支援で、仮設住宅の建設と賃貸住宅の借り上げ支援は理解できたが、公務員宿舎等の空き家を利用しないのはなぜか？
	マニュアル、プロセスマニュアルの違い。なぜ「プロセスマニュアル」という呼称としたのか。
	事前復興については事前学習で詳細があまりなかったため、講義で詳しく説明を聞きたい。 また、復興で目指す形は地域ごとで変わってくると思うが、東京都が事前復興対策を考えており(単元1のP14)、都道府県としてはどのような内容をランドデザインに盛り込むべきなのかを教えていただきたい。
	仮設住宅と公営住宅や公務員宿舎を提供する場合との、手続き上の違い

## 5. 事前学習の取り組みやすさ

Q5.事前学習は取り組みやすかったですか？

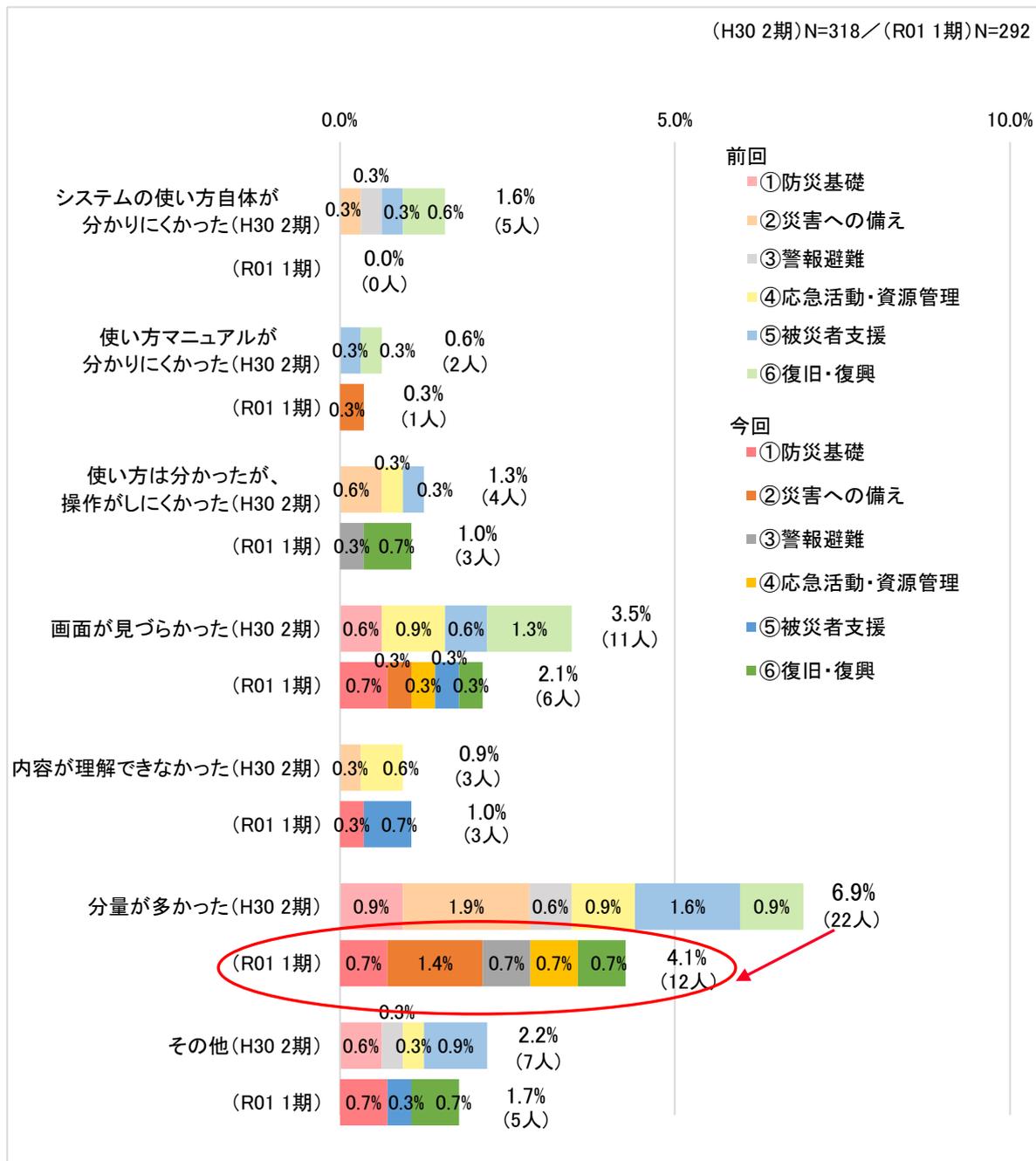
応急活動・資源管理、被災者支援は前回と比較すると「どちらかといえば取り組みにくかった」「取り組みにくかった」の割合は減少している。



## 6. 事前学習に取り組みにくかった理由

Q6.前の質問で「3. どちらかといえば取り組みにくかった」、「4. 取り組みにくかった」とお答えの方にお尋ねします。取り組みにくかった理由は何ですか？次の中で当てはまるものを全て選んでください。(複数選択可)

取り組みにくかった理由のうち、「分量が多かった」ことが最も多く挙げられているが、全体の割合で見ると、1割以下であり、前回の結果と比較しても6.9%から4.1%に下がっている。



## 7. 事前学習に取り組みにくかったその他の理由

Q7.前の質問で「7. その他」と答えた方にお尋ねします。その他の理由をお答えください。

※【コースの凡例】

①: 防災基礎／②: 災害への備え／③: 警報避難／④: 応急活動・資源管理／⑤: 被災者支援／⑥: 復旧・復興

区分	件数	自由記述の内容	コース※
①システム	4	学習システムが分からない。テキストがどこから入手すればよいのかわからない。いきなりテストとなった。	②
		時々、読み込みエラー等の不具合が生じた。	②
		今回、3科目をもうしこんでいるが、共通課題といいつつも、同じものを3回読んでテストするのは時間的にももったいなかったし苦労した。	②
		安定したインターネットの環境が課に整っていないため。	③
②教材 (内容)	4	具体的に理解することが難しい内容が一部あったため。	②
		パワーポイントを表示するだけで、あまり学習効果が感じられなかった	⑤
		資料の内容が分かりづらかった。	⑤
		スライドが断片的で流れがなく、漫然とした学習になる。	⑥
②教材 (デザイン)	4	一部文字が小さいページがあり、拡大等できなかつたため、見づらい箇所があった。	①
		解説図の文字が大きければと感じました。	③
		解説図の文字が少々小さく感じました。	⑤
		パソコンの画面で見ていると目が痛くなり、すべて見ないと紙ベースで印刷できないので大変だった。 また、パソコンの画面では、小さい文字の部分が見にくかった。	⑥
④スケジュール	2	業務との兼ね合い	①
		事前学習の期間が誤りであると連絡があり(期間が短縮された)、急遽残業して事前学習をすることになった。また、本来じっくりと勉強したかった事柄に時間をかけることができなかった。	②

## 8. eラーニング「事前学習」への感想・意見・改善点等

Q8.本eラーニングの改善の参考とさせていただきますので、「テキスト(音声付きスライド学習)」や「テスト」などに取り組んでみた感想やご意見、改善点などについて、自由にご記入ください。

### (1)良かった点

※【コースの凡例】

①: 防災基礎／②: 災害への備え／③: 警報避難／④: 応急活動・資源管理／⑤: 被災者支援／⑥: 復旧・復興

区分	要点	件数	自由記述の内容	コース※
① システム	PDFで印刷できて良かった。	3	テキストがPDFでダウンロードできて、Webにつながなくても確認できてよいと感じた。	①
			テキストをPDFで印刷できたため、メモが書き込めるので勉強しやすかった。	①
			PDFで資料を出力し、紙媒体で内容を確認したのでスライド自体を見るのが少なかった	②
	都合のいい時間に手軽に取り組めて良かった。	7	空いた時間で取り組めるので、とても実施し易かった。	①
			時間も取らず、重要な箇所をピックアップして受講できたので、わかりやすかったです。	①
			事前に学習することにより、研修に対する意識づけができました。また、自分のペースで学習できるのもよかったです。	①
			單元ごとに分割されていて取り組みやすかった。操作性も問題なかった。	①
			單元ごとに小さくまとめられているのは、時間の合間を見つけて勉強したり、個々の事例についてサクサク進められたりするので、良かった。ただ、かなり細かく単元を分けられているので、合わせられるところがあるなら、合わせても良いのではと感じた。	③
	自分の都合のよい時間で受講できるので、よい方法である。	④		
	手軽に取り組めるのでよい。テストが何度も実施できて、問題が少し変わるので学習し甲斐がある。	④		
操作が簡単だった。	2	また、Web上の事前学習スライドもクリックで前後スライドに移れ、快適に操作できた。より快適に操作できるよう、カーソルキーでも操作できるようになればよいと思う。	①	
		事前に、項目ごとの内容が確認できたので良かったと思います。システムの操作も簡単だと感じました。	③	
② 教材(テキスト)	わかりやすい資料だった。	9	資料がわかりやすく、今後の業務にも読み返したりして活用できそうであった。	①
			とても解りやすいテキストで今後も業務に役立つ内容となっていた。	②
			基本的な事項から説明があり、わかりやすい資料になっていました。	③
			スネークラインの見方がイマイチ良くわからなかったが、当テキストで大分把握できたので、事前学習として非常に効果的であった。	③
			資料がとてもわかりやすかった。	⑥
			テキストについても図式等を使用しており分かりやすかった。	①
			丁寧に説明されており、わかりやすかった。	②
			大変わかりやすいテキストでした。	③
よい学習資料だと思います。	④			

区分	要点	件数	自由記述の内容	コース※
②教材 (テキスト)	ポイントが整理されていた。	3	テキストは大切なポイントがおさえられていて、とてもためになるものだと感じました。もう少し早く受講していればよかったと思っています。	②
			ポイントが分かりやすい資料でとても参考になった。	④
			テキストはポイントがわかりやすく整理されていてよかった。	⑤
	業務の参考になった。	1	現在の業務で活用しているパワーポイントによる地元説明等の資料づくりの参考となった。	②
②教材 (テスト)	再テストは同じ問題ではないところが良かった。	3	再テストの際に同じ設問が出ないことが、より理解を深める結果となり、良かったと思います。	①
			テストも毎回問題が同じでないところもよかった。理解が深められたと思う。	②
			テストを何度か受けられること、問題が全問同じではなくバリエーションがあることは、より理解を深めやすい工夫だと感じました。気負わずチャレンジできました。ありがとうございます。	⑥
	解説が良かった。	2	解説なども詳しく、かつ、回答した直後に表示される点がとてもよかった。	①
間違えた点について、再度学習できるよう、テキストの記載箇所等を示していた解説がよかった。			①	
難易度が適切だった。	1	テストの難易度も適切であったと思います。	③	
その他	eラーニングの仕組み・構成が良かった。	4	eラーニングの仕組みはとてもよく作られていて感心しました。	①
			テキストを確認したあと、テストにより図によりポイントが説明され、わかりやすい構成になっていたと思います。	④
			見やすくまとめられているので、取り組みやすい	④
			見やすいと思いました	①
	不得意・足りない箇所が明確になった。	3	共通コースの事前学習がとてもよかった。普段実務をしていても漏れている知識を再確認し、学習することができた。	②
			事前学習が取り込みやすく、自己の不得意箇所が明確になった。	⑥
			法体系に関する知識が乏しいことをこのeラーニングを通して気づくことができた。	⑥
	事前学習は良い取り組みだと思った。	4	学習について、研修会場での講義等だけでは身につけにくいので、事前学習をするのは良い取り組みだと感じた。	①
			事前学習の制度は、実際の研修に向けてとても良い取り組みだと感じました。	①
			事前学習をすることで、基礎知識を身に付けることができ、本研修での理解がより一層深まるのでは感じています。本市においても、研修に事前学習を取り入れることを検討したいです。	①
事前学習を実施して良かった。	3	いい勉強になった。事前学習は必要であると痛感した。	②	
		事前に学習することで研修への心構えができてよかったと思う。	③	
		やってよかったと感じる内容でした。	⑤	

## (2) 悪かった点

※【コースの凡例】

①: 防災基礎／②: 災害への備え／③: 警報避難／④: 応急活動・資源管理／⑤: 被災者支援／⑥: 復旧・復興

区分	要点	件数	自由記述の内容	コース※
① システム	音声があると良い。	3	音声での解説があるとより親切であると感じた。全てを読むにしても「詳しくは研修で学習します」とスライドに記載があり、どこまで理解すべきか悩ましく感じた。	②
			音声があると良い	②
			テキストに動画や音声があったら、更に効果的な教材になると思われます。	⑤
	印刷(一括)できるようにしてほしい。	2	印刷等が可能で、部署での情報共有ができれば良いと思います(著作権等クリアできれば)。	②
			テキストの一括印刷ができるようにしていただけると助かります。	⑥
	コース毎にIDが付与され煩雑。	2	コースごとのID付与なので複数のコースを受講する際には受講履歴を見渡すのに煩雑になっています。	②
			10コース受講予定だが、一つのアカウントで対応できないのか。	⑥
	テキストとテストを分けてほしい。	1	テキストとテストを分けてほしい。複数単元を受講しようとすると、まったく整理ができない。	②
共通課題の受講は1回にしてほしい。	1	共通課題は全科目共通で1回受講・受験すればよいようにしてほしいです。	②	
一覧画面に戻る操作が分かりにくかった。	1	スライド学習で各単元が終了した際に、一覧画面に戻る操作が分かりにくかった。	⑤	
システムの待機時間が長い。	1	システムの待機時間が長い。もっとスムーズに動いてほしい。	⑥	
② 教材	シンプル・簡素化してほしい。 文字数が多い。	9	文字が多い場合、スライドよりテキストのほうが良い。	②
			シンプルな絵にしてください。	①
			1つの画面に対して文字数が多い印象を受けます。もう少し簡素化すると読みやすいと感じました。	②
			パワーポイントの中には、文字が多すぎて、わかりにくいものがあった。	④
			一スライド当たりの文字数が多いように感じました。別添参照資料により、法令の条文等はスポイルした方が、イメージとして頭に入ると考えられます。	④
			テキストに図や絵が多く、少し見にくく感じ、理解するのに時間がかかると感じた。もう少し文章による説明が多くてもよいと感じた。	⑤
			資料がわかりづらかったので、内容を抜粋する等してほしい。	⑤
			研修テキストなので仕方ない部分があると思いますが、文字が多く読むのがしんどかった。イラストや被災者の生の声を取り入れる、マンガ風にして読みやすくするなどの工夫をすると理解が進むのではないかと考えます。	⑥
			一般的にもう少し量を減らし、説明、解説文等も大きめでシンプルに表示していただけるとありがたいです。	⑥

区分	要点	件数	自由記述の内容	コース※
② 教材	文字が小さくて見にくい。	8	スライドの大きさが小さく文字が見にくいので、テキストを印刷する必要があったので画面の表示を簡単に拡大できてよかったかなと思います。	②
			図表を挿入する際は、文字が小さくなり見難くなることを考慮して拡大等ができるようにしていただけるとありがたい。	②
			文字が小さく見えづらいスライドがあったので、拡大等をスムーズに行えるような仕様だとありがたいです。	③
			やはり解説図の文字の大きさかと思います。	③
			スライドの表の一部が小さい字で見えにくかったので、容易に読めるように工夫して欲しい。	③
			やはり解説図の文字が小さく読みづらいところ。図を2つに分けてもらえると良いかと思います。	④
			解説図の文字を大きく表示していただくと有難いと思います。	⑤
			時々、表の中の字が小さくて読みづらいチャートがあったので、字を大きくする工夫をして欲しい。	⑥
	問題文・説明文の書き方(言い回し)が分かりにくい。	3	共通コーステストの、問題文の書き方(言い回し)が分かりにくいところがあった。	②
			回りがどい文言とかがあり、理解に時間を要する箇所があった。	③
			共通テストは同じような用語が多く、説明文が回りがどく、理解しにくい。	④
	再テストの際は問題をランダムに出題してほしい。	2	テストは、複数回やった場合に、同一問題が出る頻度をもっと下げたほうが良いと思います。	⑥
			テストを1回目で不合格になった場合で、2回目に行くときは、出題順をランダムに変更したほうがよい。	①
		もう少し出題数を増やして欲しい。	1	テストに関しては、もう少し出題があると勉強になるかと思いました。
スライドが要点だけにとどまっている。		1	スライドが要点だけにとどまっているものが多く、理由や背景などの理解を深める付記がほしい	⑥
大系から具体的な解説図があると理解しやすい。		1	法規解説図を2枚で構成されると分かりが良いかと思います。大系から具体的な解説図があると理解し易いかと思います。	⑥
要約する分、詰め込み過ぎな感じがある。	1	問題は分かりやすかった。テキストの方がどうしても要約する分、詰め込み過ぎの感じをうける。	②	
その他	ボリュームが多く、負担が大きい。	1	全体的にボリュームが多いため研修前の事前学習としては少し負担が大きいと感じます。	②
	受講期間にもう少し余裕があるといい。	1	受講期間にもう少し余裕があるといいと思いました。	①
	学習前に単元が分かっていることや所要時間を知りたい。	1	学習に取りかかる前に単元が分かっていることや各単元の所要時間の目安が分かると業務の合間に取り組みやすい。	④
	行政サイド、国の施策動向について学びたい。	1	地域コミュニティーの再興のところ、地域による自立型の再生のあり方など、行政サイドによるソフト施策の支援メニューについて学びたいです。また、交付メニューなどがなかなか見当たらない部分ですので、そのあたりの国の施策動向なども知りたいです。	⑥